

第8期羅臼町総合計画

羅臼町まちづくりアンケート（一般用）回答結果

【対象】 18歳以上の町民 1000名

【方法】 アンケート用紙への記入による郵送回収またはWEB回答

【期間】 令和5年2月15日～令和5年3月15日

【結果】 470名 回答率47.0%

WEB回答 106人22.6%、郵送回答364人77.4%

羅臼町

目次

■あなたご自身のことについてお伺いします。

問1	性別	1
問2	年代	1
問3	職業	1
問4	住所	2
問5	居住状況	2
問6	家族構成	3
問7	羅臼町に住んでいる期間	3
問8	転入・転出の状況	3

■あなたの暮らしについてお伺いします。

問9	羅臼町に住むようになった理由	4
問10	日常生活における日用品（食料品など）の買い物の行き先と移動手段	5
問11	日常生活における非日用品（衣料品など）の買い物の行き先と移動手段	5
問12	病院などへの通院の行き先と移動手段	6

■羅臼町での生活や住み心地についてお伺いします。

問13	羅臼町への愛着	6
問14	羅臼町のイメージ（印象）	7
問15	羅臼町の住み心地	7
問16	これからも羅臼町に住み続けたいか	8
問17	《回答無し》中学生・高校生のみ設問のため回答無し	9

■羅臼町の取り組みについてお伺いします。

問18	羅臼町の生活環境や行政サービスなどの満足度と重要度	9
	【1生活環境や町民協働に関する項目】	9
	【2産業に関する項目】	10
	【3保健・医療・福祉に関する項目】	12
	【4まちづくりに関する項目】	14
	【5教育・文化・スポーツ活動に関する項目】	14
	【6町政への町民参加や行政サービスに関する項目】	16

■将来に向けた人口減少対策についてお伺いします。

問19	人口の「社会減少」への施策	17
問20	人口の「自然減少」への施策	18

■将来に向けた教育環境についてお伺いします。

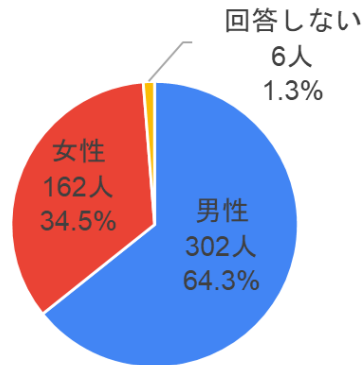
問21	人口減少に伴う小学校と幼稚園の教育環境について	20
-----	-------------------------	----

問22	人口減少に伴う羅臼高校の存続について	21
■将来に向けた生活環境についてお伺いします。		
問23	今後の暮らしに欠かせないと思う施設	22
問24	今後の公共交通のあり方	23
■将来のまちづくりについてお伺いします。		
問25	今後の人口減少や少子高齢化に伴う影響	25
問26	将来の羅臼町のイメージ	26
問27	羅臼町のまちづくりや町民参加	26
問28	住み良い羅臼町を維持していくためのアイデアやご意見	27

■あなたご自身のことについてお伺いします。

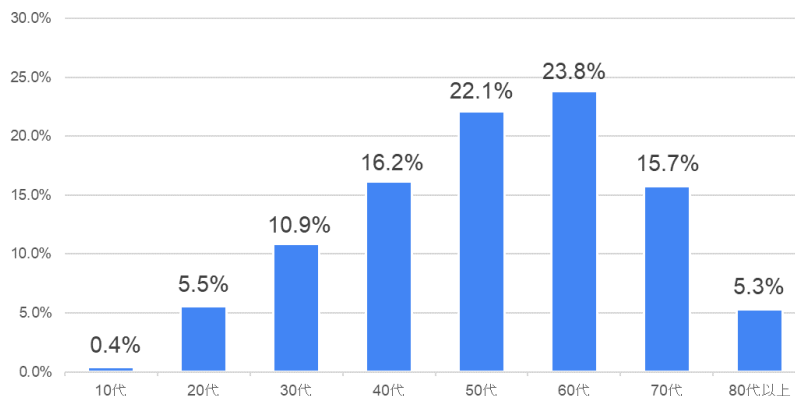
問1 あなたの性別について、1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「男性」が302人で64.3%、「女性」は162人で34.5%、「回答しない」が6人で1.3%であった。



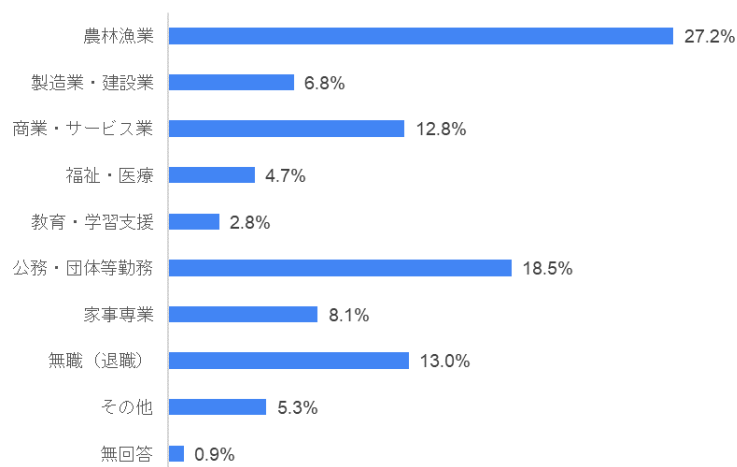
問2 あなたの年代について、1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「60歳代」が23.8%と最も多く、次いで「50歳代」が22.1%、「40歳代」が16.2%、「70歳代」が15.7%となった。



問3 あなたの職業について、1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

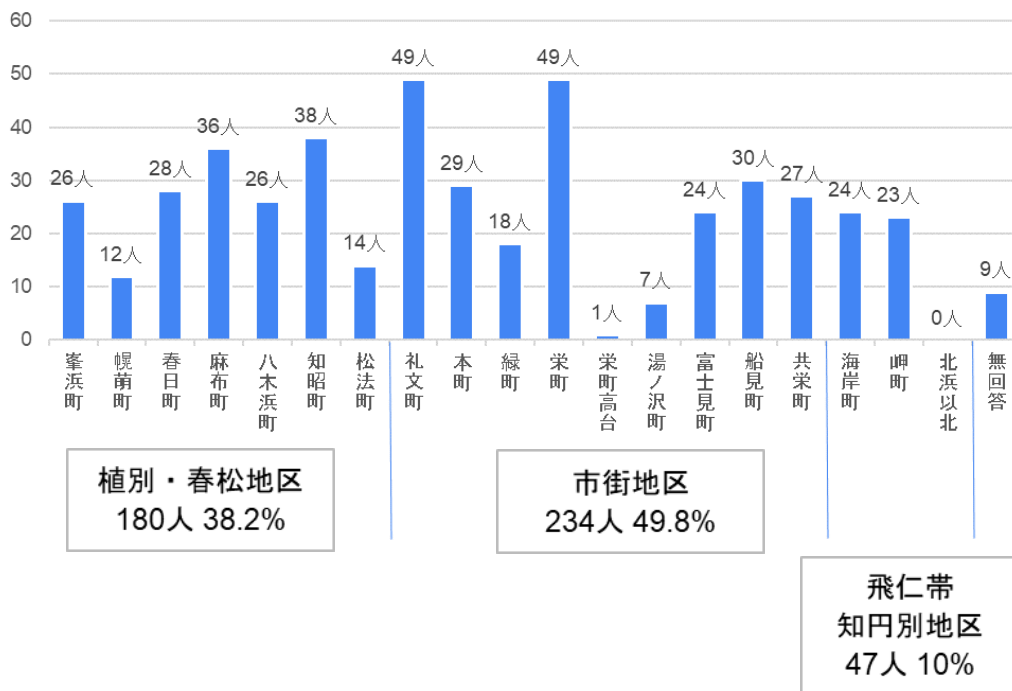
「農林漁業」が27.2%と最も多く、次いで「公務・団体等勤務」が18.5%、「無職（退職）」13.0%、「商業・サービス業」が12.8%となった。



「その他」の回答：未記入、パート・アルバイト、水産加工員、会社員・会社役員、自営業、宗教関係、清掃業

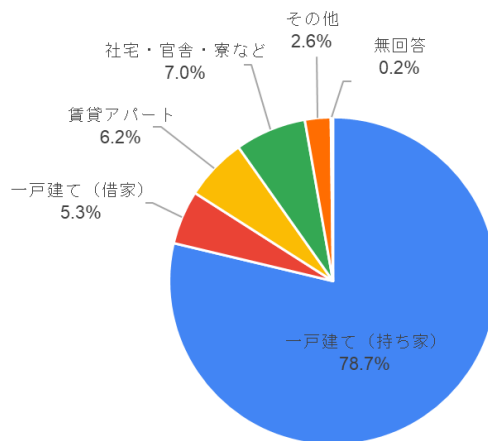
問4 あなたがお住まいの住所について、1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

市街地区への居住者数が49.8%と最も多く、次いで植別・春松地区が38.2%、飛仁帯・知円別地区が10%の順であった。



問5 あなたの居住状況について、1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

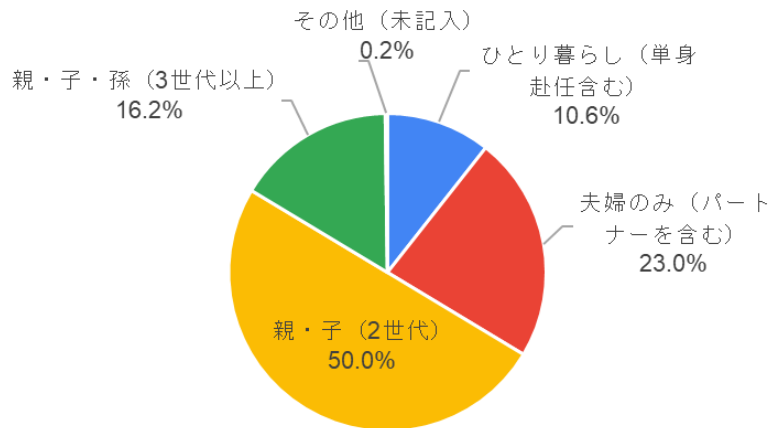
「1戸建て（持ち家）」が78.7%と最も多かった。



「その他」の回答：未記入、持ち家アパート、町営住宅、親の家、店舗内

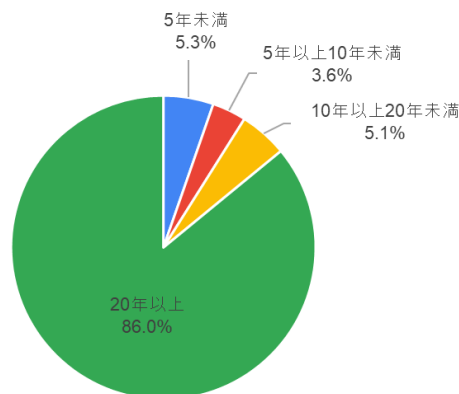
問6 あなたの家族構成について、1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「親・子（2世代）」が50.0%と最も多く、次いで「夫婦のみ（パートナーを含む）」が23.0%、「親・子・孫（3世代以上）」が16.0%であった。



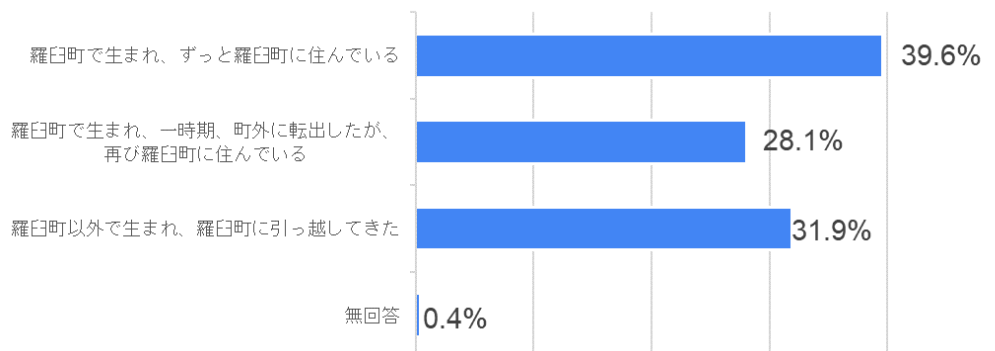
問7 羅臼町に住んでいる期間について、1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「20年以上」が86.0%と最も多く、移住と定住について明確な年数の基準は無いが、問8の設問も考慮すると回答者のほとんどが定住者と言えらる。



問8 転入・転出の状況について、1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

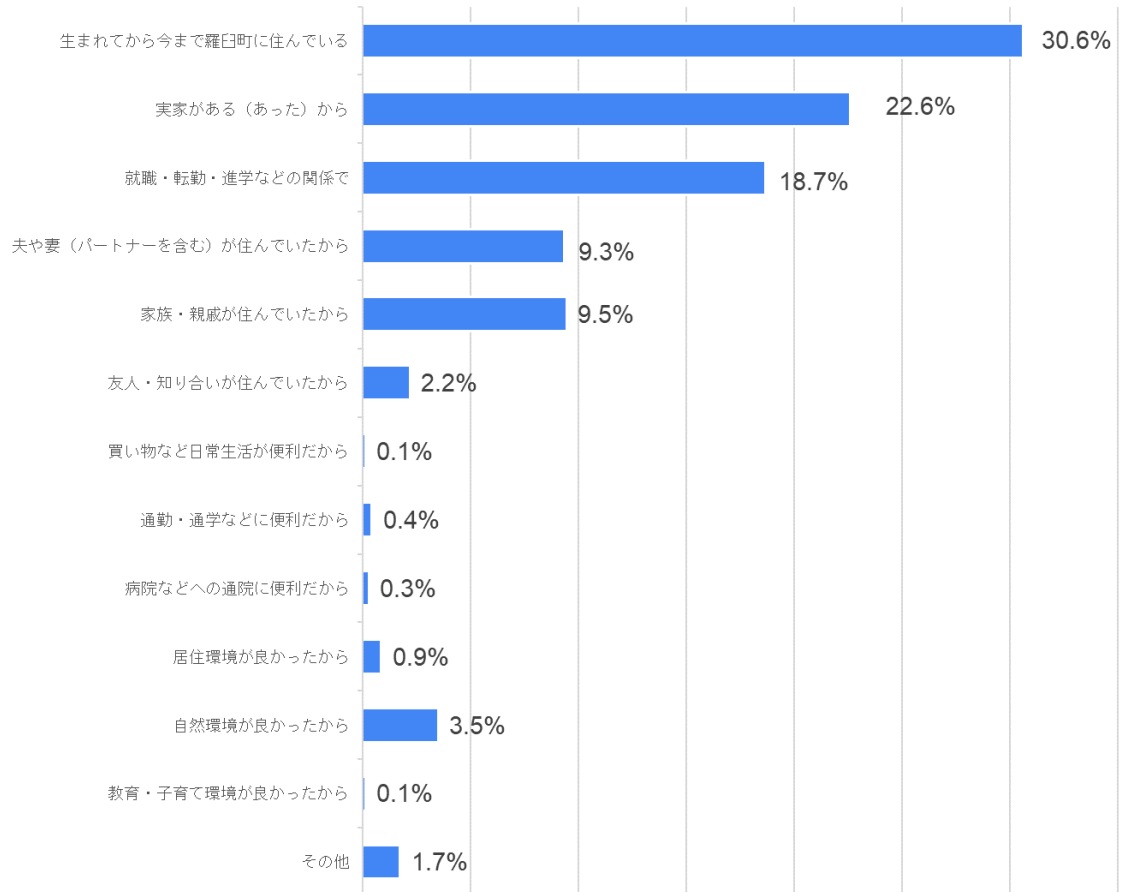
「羅臼町で生まれ、ずっと羅臼町に住んでいる」が39.6%と最も多かった。「羅臼町以外で生まれ、羅臼町に引っ越してきた」との回答は31.9%であり、問7の設問を考慮すると回答者の60歳代以上の方が40年以上前の漁業の隆盛期に移り住んだ要素が反映されたのではないと思われる。



問9 羅臼町に住むようになった理由について、あてはまるものをすべて選んで番号に○印を付けてください。

「生まれてから今まで羅臼町に住んでいる」が30.6%と最も多く、次いで「実家がある(あった)」が22.6%であり、回答者の半数以上が数世代前からの定住者であることが分かった。

また、「就職・転勤・進学などの関係で」と答えた回答者は18.7%であり、町外からの転入者も一定割合の割合で存在することが分かった。



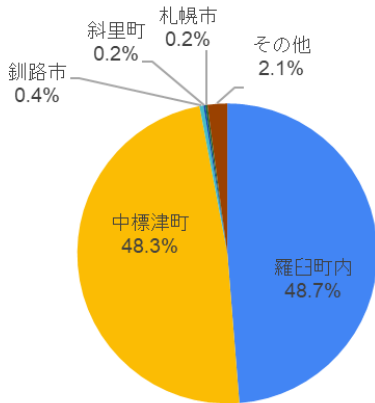
「その他」の回答：未記入、家業を継ぐため、親の仕事の関係、親や自身の移住、親の死去、何となく、他の地域へ移住するよりもお金がかからない(誘惑がない)

■あなたの暮らしについてお伺いします。

問10 日常生活における日用品（食料品など）の買い物について、最も多いと思う行き先と移動手段をそれぞれ1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

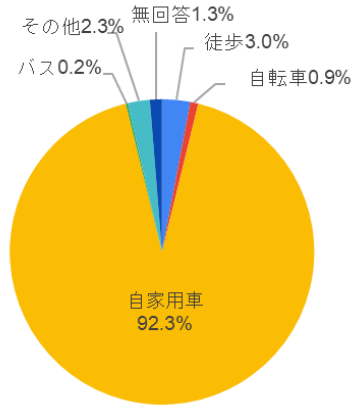
最も多いと思う行き先は、羅臼町内が48.7%、中標津町が48.3%と、ほぼ同数であった。移動手段は自家用車が92.3%と圧倒的に多かった。

最も多いと思う行き先（食料品など）



その他：コープ等の宅配、通信販売、ネットショップ

移動手段（食料品など）

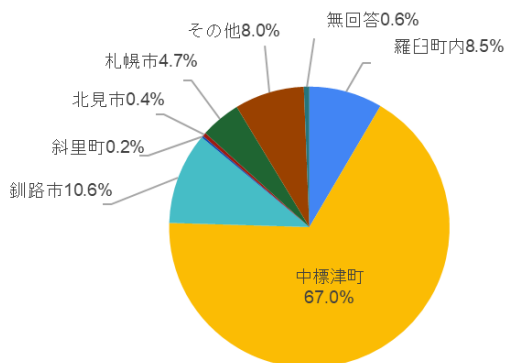


その他：家族の車、インターネット、コープ等の宅配、自分の店舗で、知友人に依頼

問11 日常生活における非日用品（衣料品など）の買い物について、最も多いと思う行き先と移動手段をそれぞれ1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

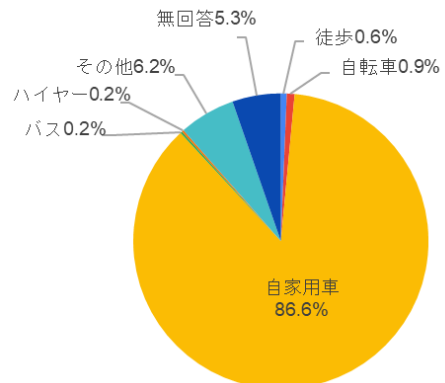
最も多い行き先は中標津町の67.0%、次いで釧路市が10.6%であった。移動手段は自家用車が86.6%と圧倒的に多かった

最も多いと思う行き先（衣料品など）



その他：未記入、十勝管内、コープ等の宅配、通信販売、ネットショップ

移動手段（衣料品など）

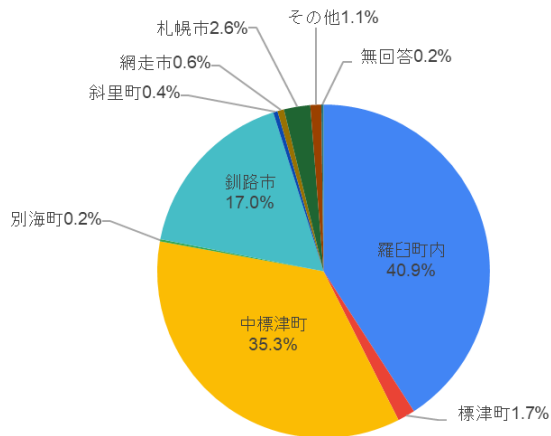


その他：未記入、家族の車、インターネット、航空機、郵送、コープ等の宅配、知友人に依頼

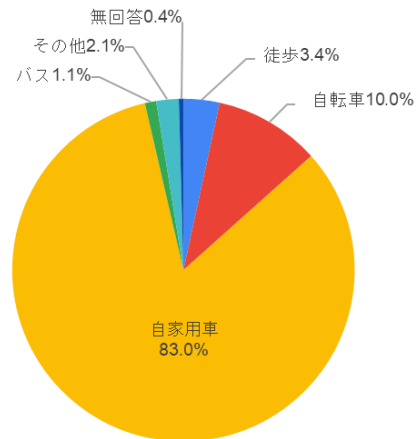
問12 病院などへの通院について、最も多いと思う行き先と移動手段をそれぞれ1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

最も多い行先は羅臼町内が40.9%、次いで中標津町の35.3%、釧路市が17.0%であった。移動手段は自家用車が83.0%と圧倒的に多かった。

最も多いと思う行き先（病院など）



移動手段（病院など）



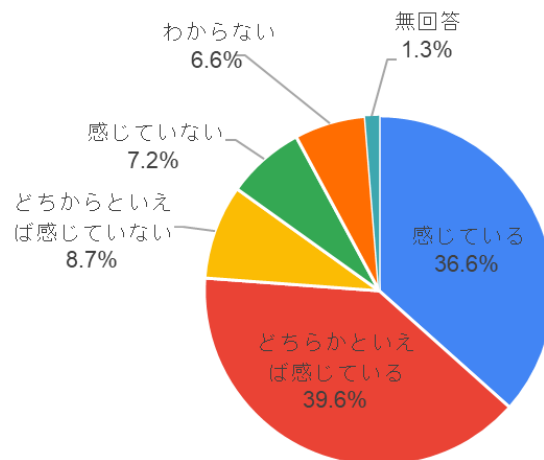
その他：十勝管内、オンライン、北海道外、2地域に通院、行かない

その他：未記入、家族の車、社会福祉協議会、航空機

■羅臼町での生活や住み心地についてお伺いします。

問13 あなたは、羅臼町に愛着を感じていますか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

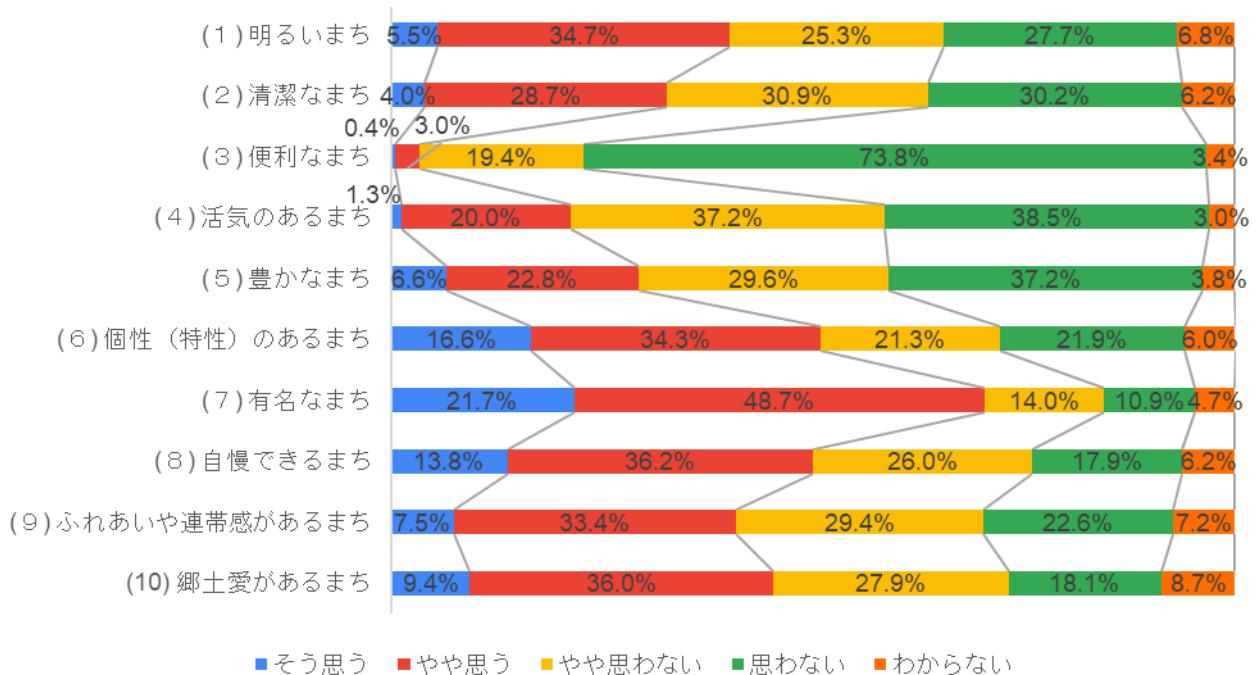
「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせると76.2%となり、愛着を感じている町民が多いことが分かった。



問14 羅臼町のイメージ（印象）に当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○印を付けてください。

「(3)便利な町」の項目で「そう思う」「やや思う」という回答が3.4%、「やや思わない」「思わない」という回答が93.2%となり、便利ではないと思っている回答者が圧倒的に多かった。

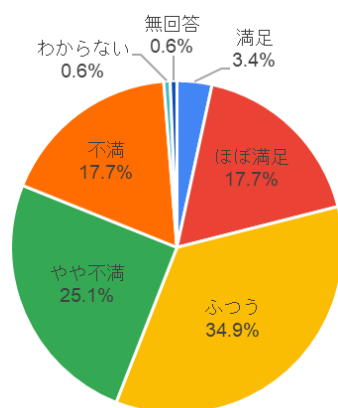
また、「(6)個性（特性）のあるまち」「(7)有名なまち」「(8)自慢できるまち」と答えた回答者はそれぞれ50%を超え、特に「(7)有名なまち」は70.4%と高く、羅臼町が特別なまちであると感じている町民が多いことが分かった。



問15 あなたは、羅臼町の住み心地についてどう思いますか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

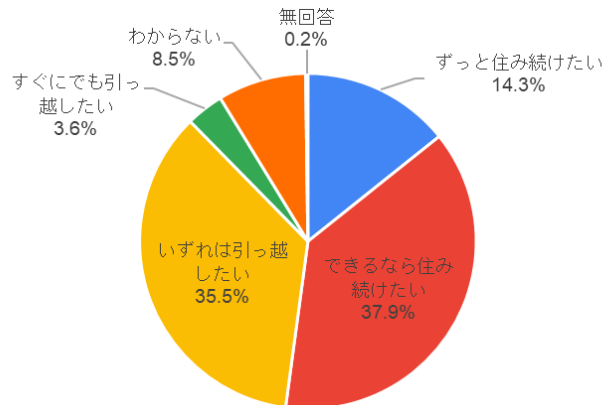
「不満」「やや不満」が42.8%と高かった。問14で不便なまちであると感じている町民が圧倒的に多かったことから、便利さにおいて不満を感じている町民が多いと思われる。

反面、「ふつう」が34.9%と比較的多い割合となった。満足でも不満でもないが、日常生活である程度対応できているとも考えられる。



問16 あなたは、これからも羅臼町に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

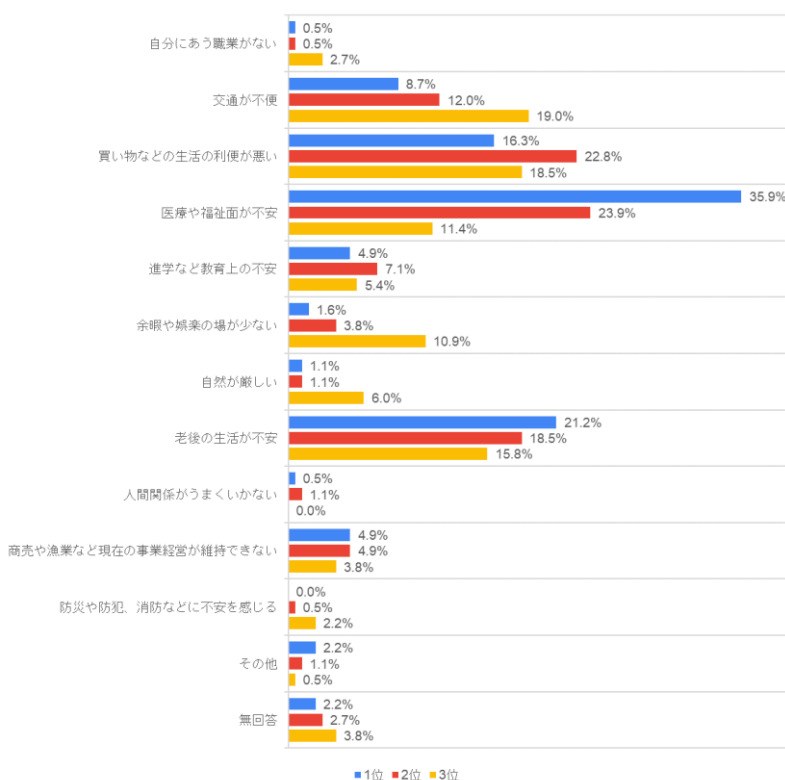
「ずっと住み続けたい」「できるなら住み続けたい」が 52.2%、「すぐにでも引っ越したい」「いずれは引っ越したい」が 39.1%となり、半数以上の町民が定住し続けたいと考えていることが分かった。



「3. いずれは引っ越したい」「4. すぐにでも引っ越したい」を選んだ方の理由に当てはまるものを、1位から3位まで選んで右の枠の中に順位（1，2，3）を書いてください。

引っ越したいと思う要因の1位・2位ともに「医療や福祉面が不安」が圧倒的に多かった。「老後の生活が不安」も1位・2位ともに多く、生活をしていく上で医療や福祉に不安あることが浮き彫りとなった。

「交通が不便」「買い物などの生活の利便が悪い」も多く、公共交通の貧弱さや日用品の入手しづらさなども理由として挙げられた。



その他 1位

- ・家賃が高く、ちゃんとした家に住む事が出来ないから、このままちゃんとした所に住めない場合は、子どもの学校卒業時に引っ越しを考えています。
- ・子供がいずれ出ていくため。夫婦二人になるため。
- ・地元で生活したいので
- ・干渉と噂話が煩わしい

その他 2位

- ・親のところに戻る
- ・学習の距離的ハンデ

その他 3位

- ・交際費

問17 中学生・高校生の皆さんのみお答えください。

あなたは、就職や進学で羅臼町を離れた後、羅臼町に戻りたいですか。 1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

中学生・高校生のみのため回答無し

「3. どちらかといえば戻りたくない」「4. 戻りたくない」を選んだ方の理由に当てはまるものを、 1位から3位まで選んで右の枠の中に順位（1, 2, 3）を書いてください。

中学生・高校生のみのため回答無し

■羅臼町の取り組みについてお伺いします。

問18 毎日の暮らしの中で、羅臼町的生活環境や行政サービスなどに満足していますか。 ま
た、今後羅臼町が取り組むにあたり、どのくらい重要だとお考えですか。 次
の各項目について、あなたのお考えにいちばん近い「現在の満足度」の数字と「今後の重要度」のアルファベットを、 それぞれ1つずつ選んで○印を付けてください。

【1 生活環境や町民協働に関する項目】

「現在の満足度」では全体的に「ふつう」を選択する町民が多かった。「満足」「やや満足」では、「①ごみの収集処理やリサイクルへの取り組み」が高く、ごみの分別について大よそが理解を示している傾向であった。

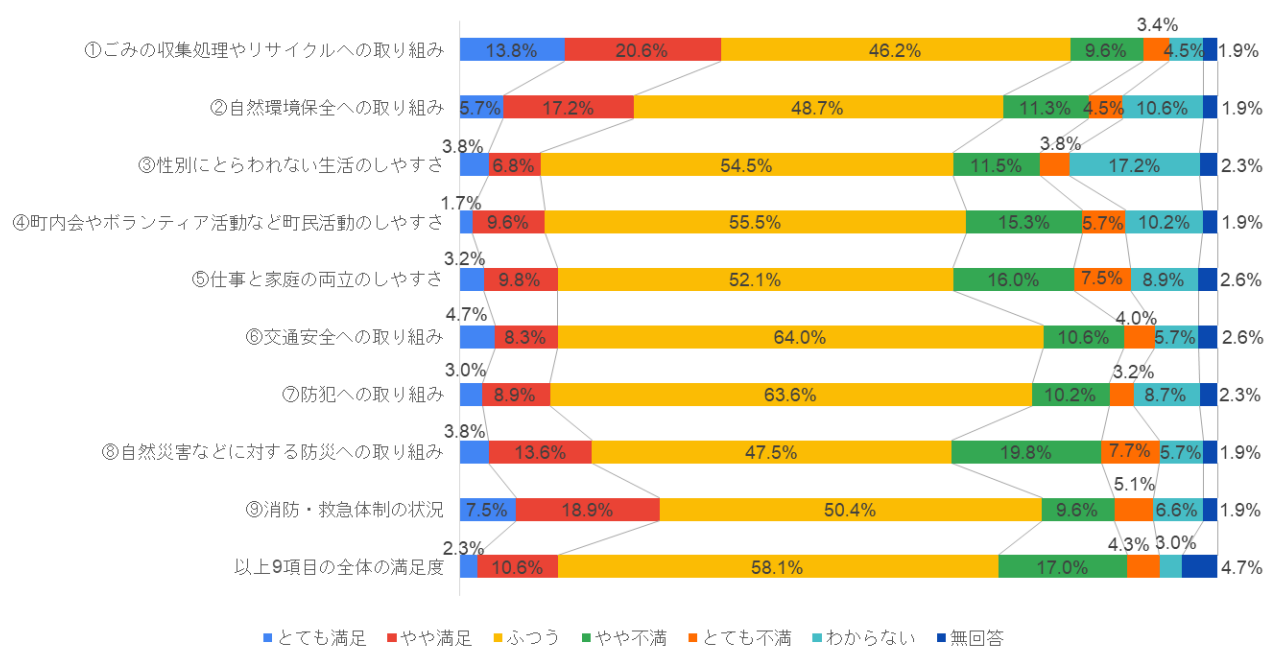
反面、「⑧自然災害などに対する防災への取り組み」に関して、不満傾向の割合が高く、土砂災害や暴風雪により交通が遮断されることに不安を抱いていることが読み取れる。

「今後の重要度」については、「現在の満足度」でも不満傾向が高かった「⑧自然災害などに対する防災への取り組み」に関してであった。

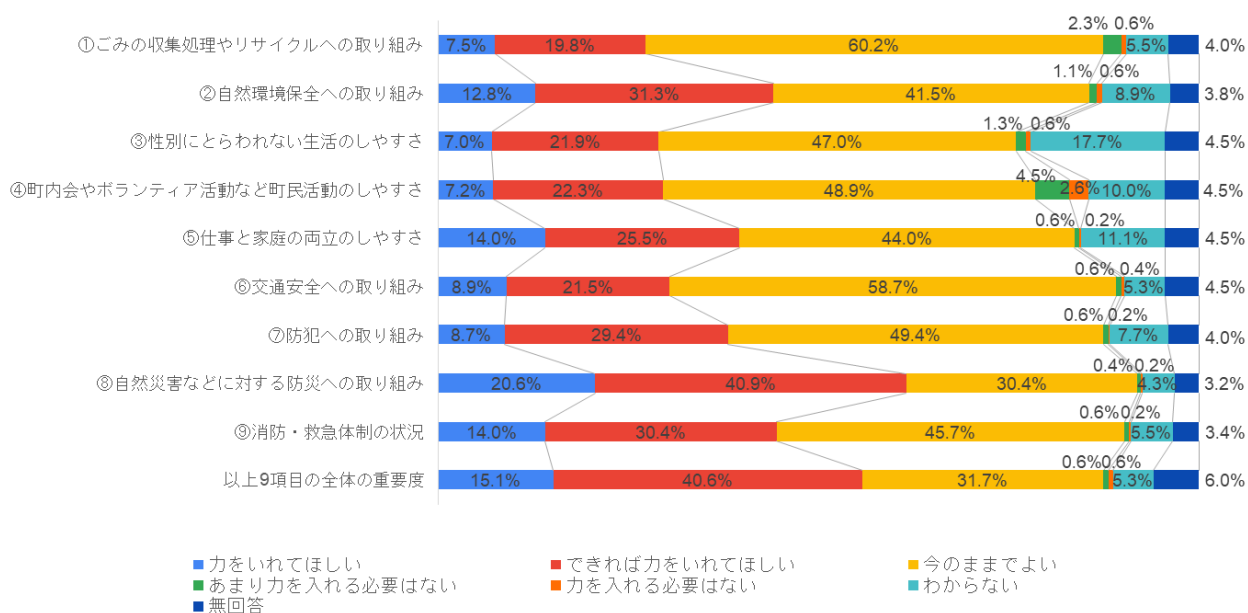
また、消防・救急体制の状況についても重要度が高くなっており、町民が感じている高齢化の状況と町の医療・緊急搬送体制について、表れたものと考えられる。

②自然環境保全への取り組みも重要度が高い傾向であり、世界自然遺産や国立公園を抱える羅臼町が豊かな自然環境であり、今後も保全していくべきと感じていることが分かった。

1 生活環境や町民協働に関する項目「現在の満足度」



1 生活環境や町民協働に関する項目「今後の重要度」



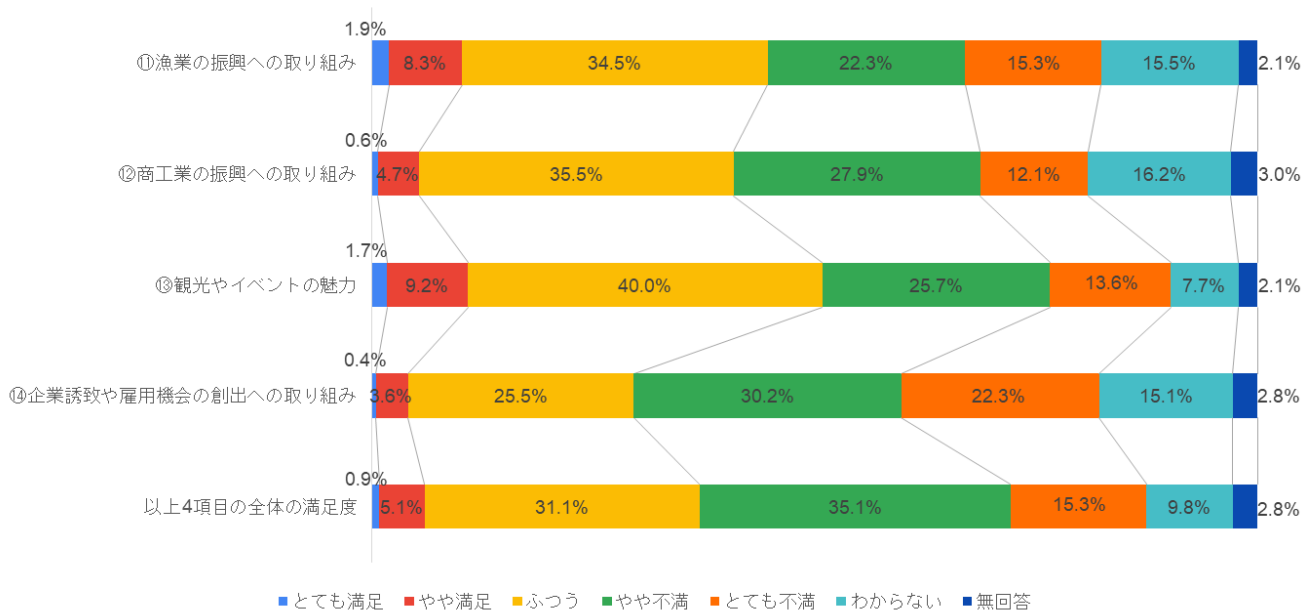
【2 産業に関する項目】

産業に関する「現在の満足度」については、「⑬観光やイベントの魅力」以外は全て不満傾向が高い割合となった。羅臼町を訪れる観光客や道の駅の状況、観光船など実際に目にしたり体感したりすることが多いことが影響していると思われる。漁業の水揚げが低迷する中、商工業も売り上げの減少や就労人材の不足などの影響を受けており、その結果「⑭企業誘致や雇用機会の創出への取り組み」の項目において不満傾向が高く表れている。

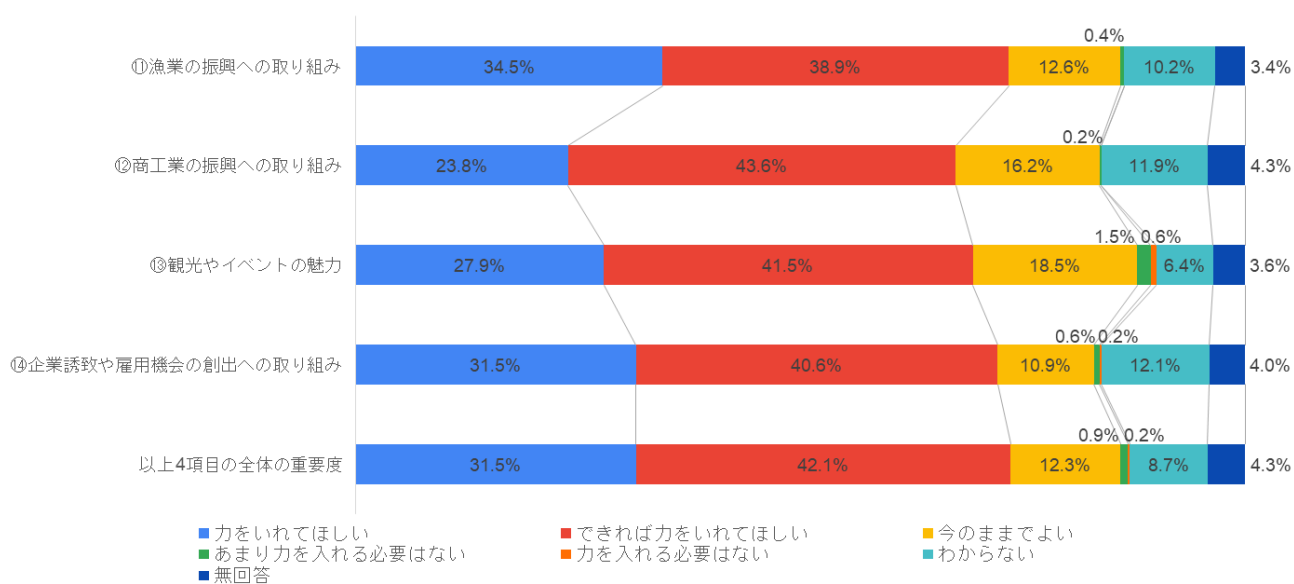
「今後の重要度」についても「⑪漁業の振興への取り組み」「⑭企業誘致や雇用機会の創出への取

り組み」へ力をいれるべきと高い割合で回答があった。

2 産業に関する項目「現在の満足度」



2 産業に関する項目「今後の重要度」

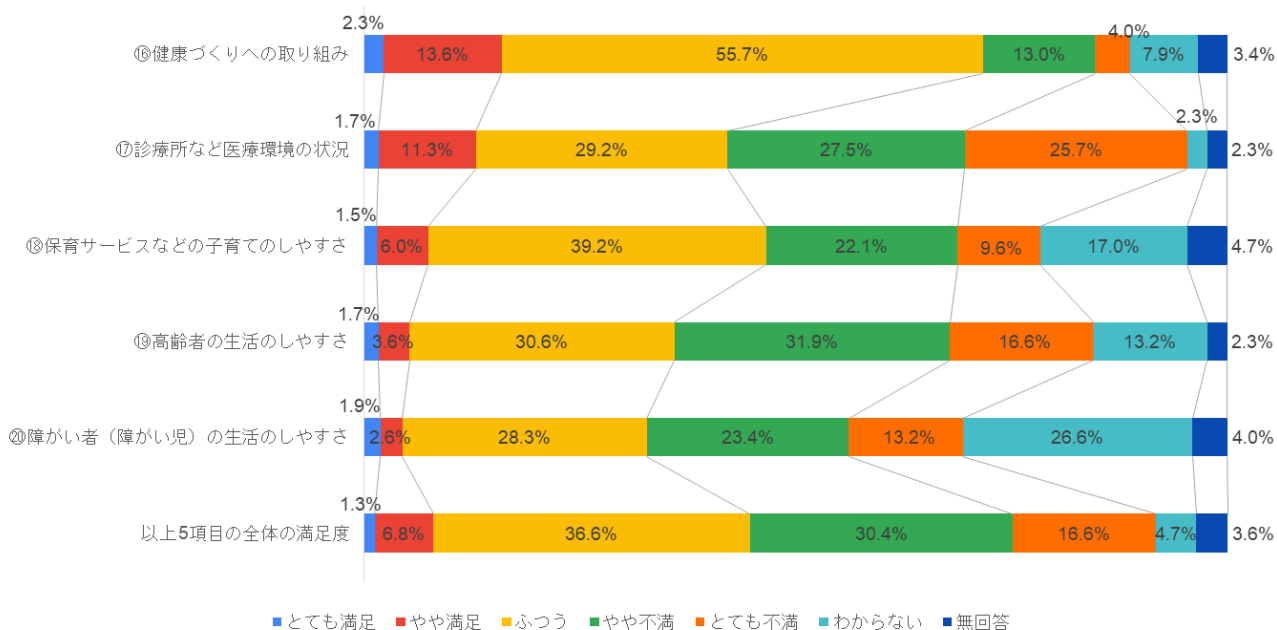


【3 保健・医療・福祉に関する項目】

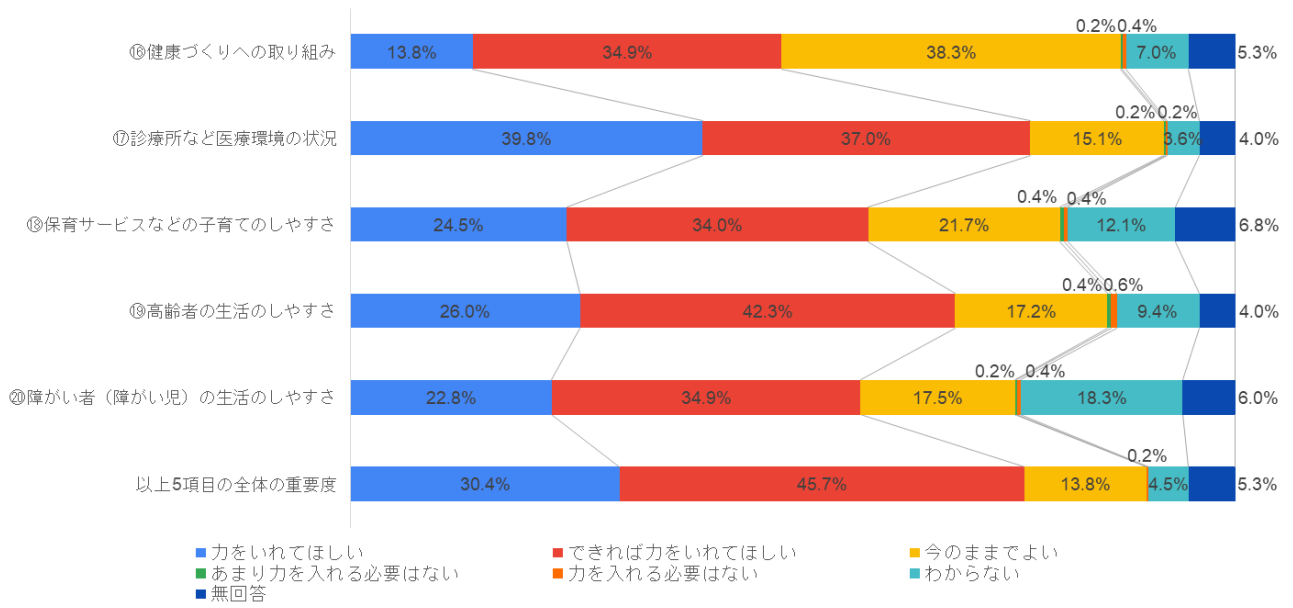
保健・医療・福祉に関する「現在の満足度」については「⑩健康づくりへの取り組み」以外は全体的に不満傾向であることが見受けられた。特に「⑰診療所など医療環境の状況」については「やや不満」「とても不満」が53.2%と半数を超えている。次いで「⑲高齢者の生活のしやすさ」も48.5%となっている。人口減少に伴う親族や知友人の転出、町民自身の高齢化、公共交通の不全さなども不満度を押し上げた要因と考えられる。

「今後の重要度」についても、満足度の結果が反映され「⑰診療所など医療環境の状況」が突出して高く求められた。次いで「⑲高齢者の生活のしやすさ」となっており、医療体制の充実は必須と認識されていることが分かった。

3 保健・医療・福祉に関する項目「現在の満足度」



3 保健・医療・福祉に関する項目「今後の重要度」

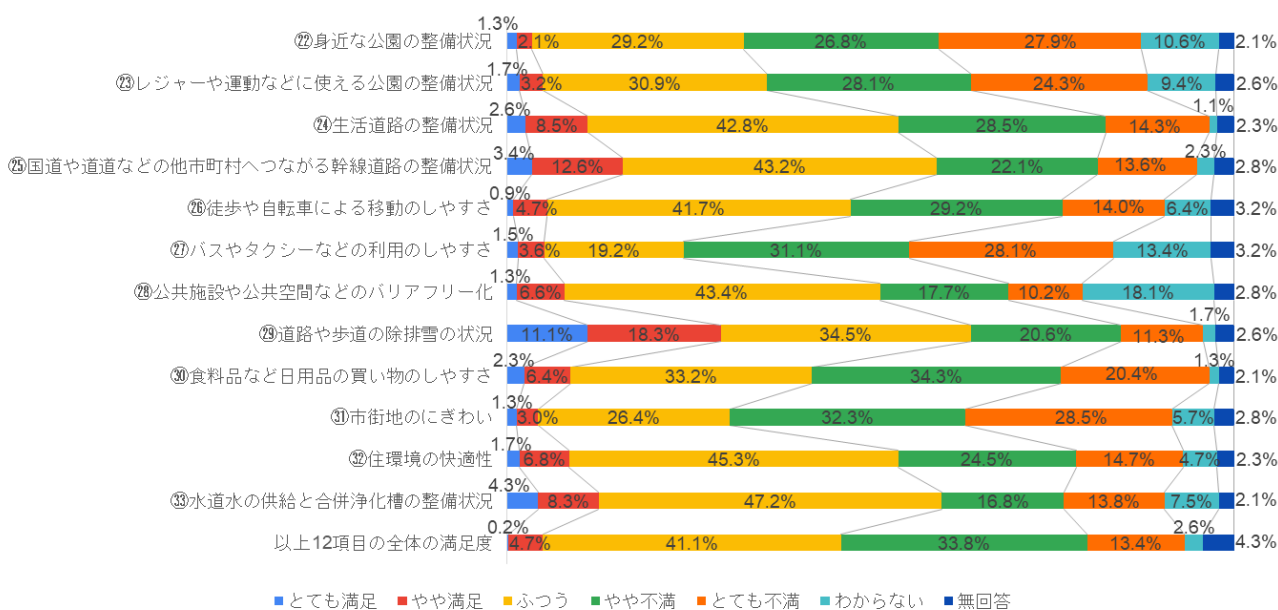


【4 まちづくりに関する項目】

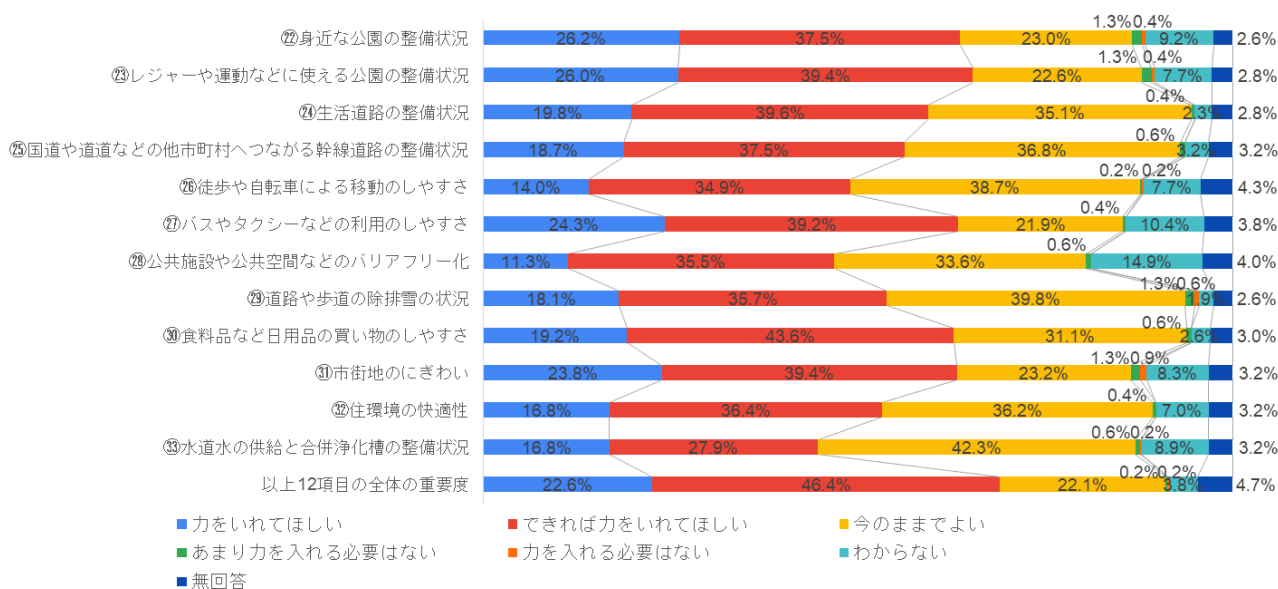
まちづくりに関する「現在の満足度」については、「㉗バスやタクシーなどの利用のしやすさ」「㉓市街地のにぎわい」に対して不満傾向があることが見受けられた。公共交通の利便性が悪い、市街地に活気が無いと思っている町民が多いことが見受けられた。

「今後の重要度」においても、公園整備や公共交通、買い物のしやすさ、市街地の賑わいに関する項目について力を入れるべきとの回答が特に多くなっている。

4 まちづくりに関する項目「現在の満足度」



4 まちづくりに関する項目「今後の重要度」



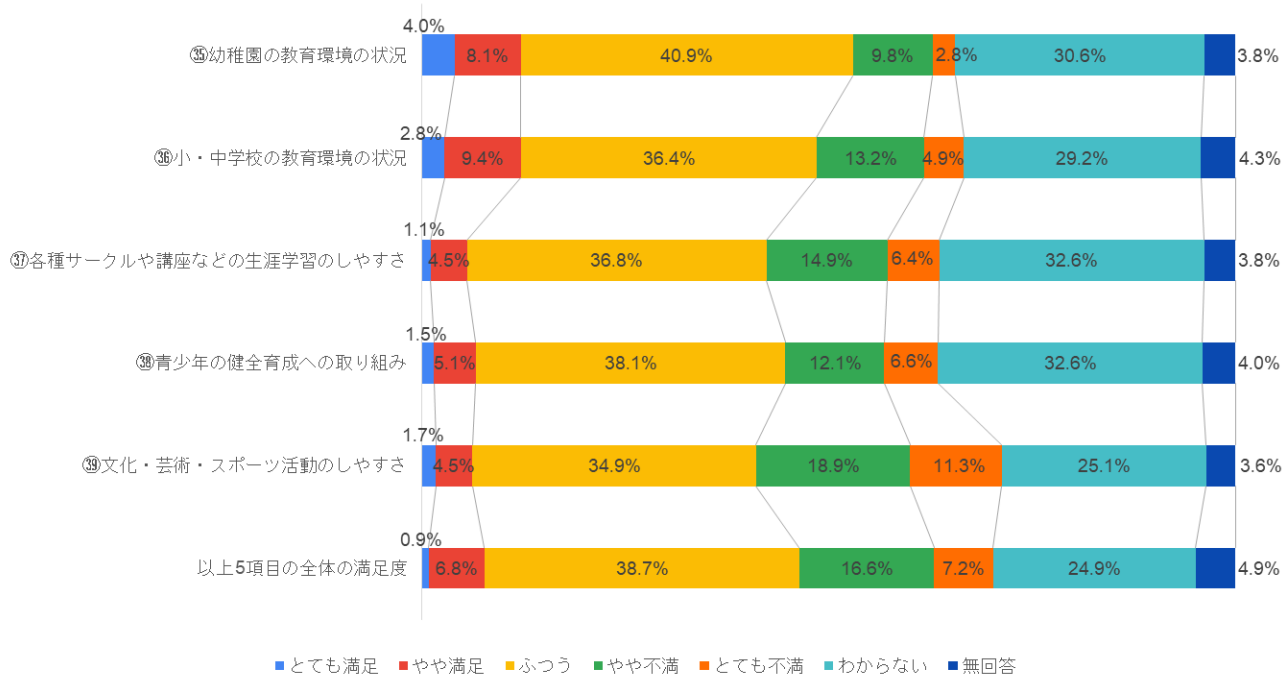
【5 教育・文化・スポーツ活動に関する項目】

教育・文化・スポーツ活動に関する「現在の満足度」については、全体的に「ふつう」が多かった。「やや不満」「とても不満」の割合が比較的多かったのは「㉗各種サークルや講座などの生涯学習のしやすさ」「㉓文化・芸術・スポーツ活動のしやすさ」であり、多様な文化・芸術活動やスポー

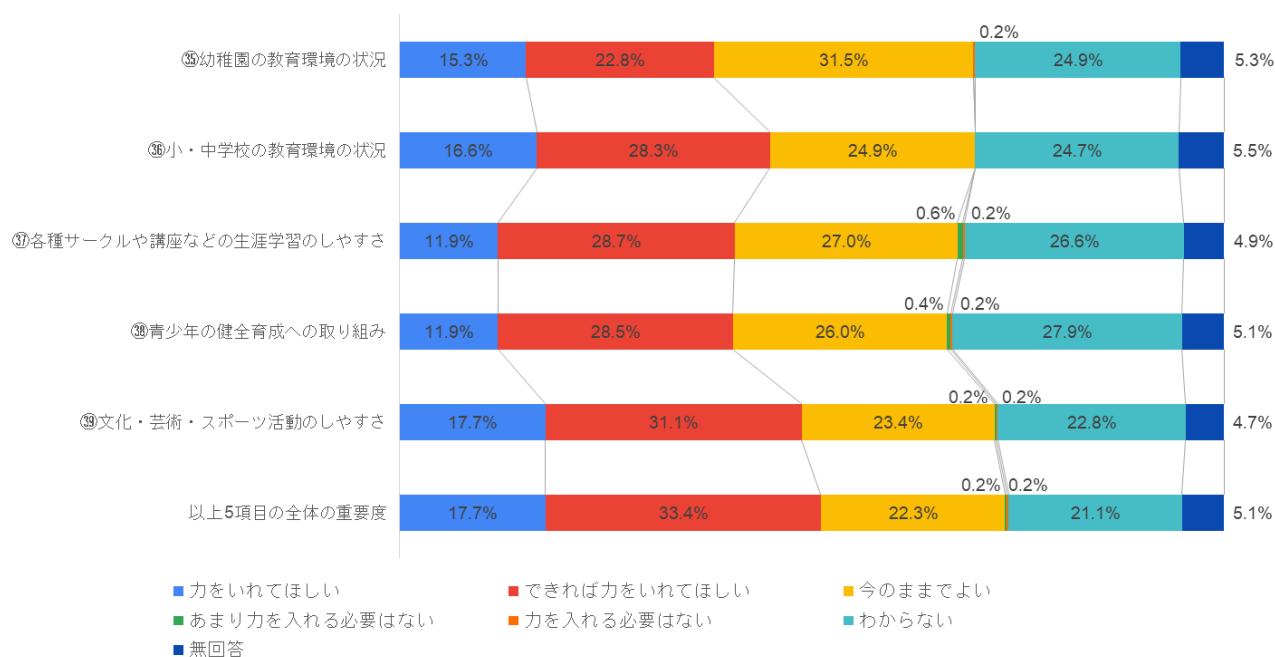
ツ活動ができない状態であると考えている町民も多いことが分かった。

「今後の重要度」については、「㉟文化・芸術・スポーツ活動のしやすさ」について力を入れるべきとの回答が「満足度」と同様に多かったほか、「㉞小・中学校の教育環境の状況」においても、力を入れるべきと考えている町民も多かった。

5 教育・文化・スポーツ活動に関する項目「現在の満足度」



5 教育・文化・スポーツ活動に関する項目「今後の重要度」

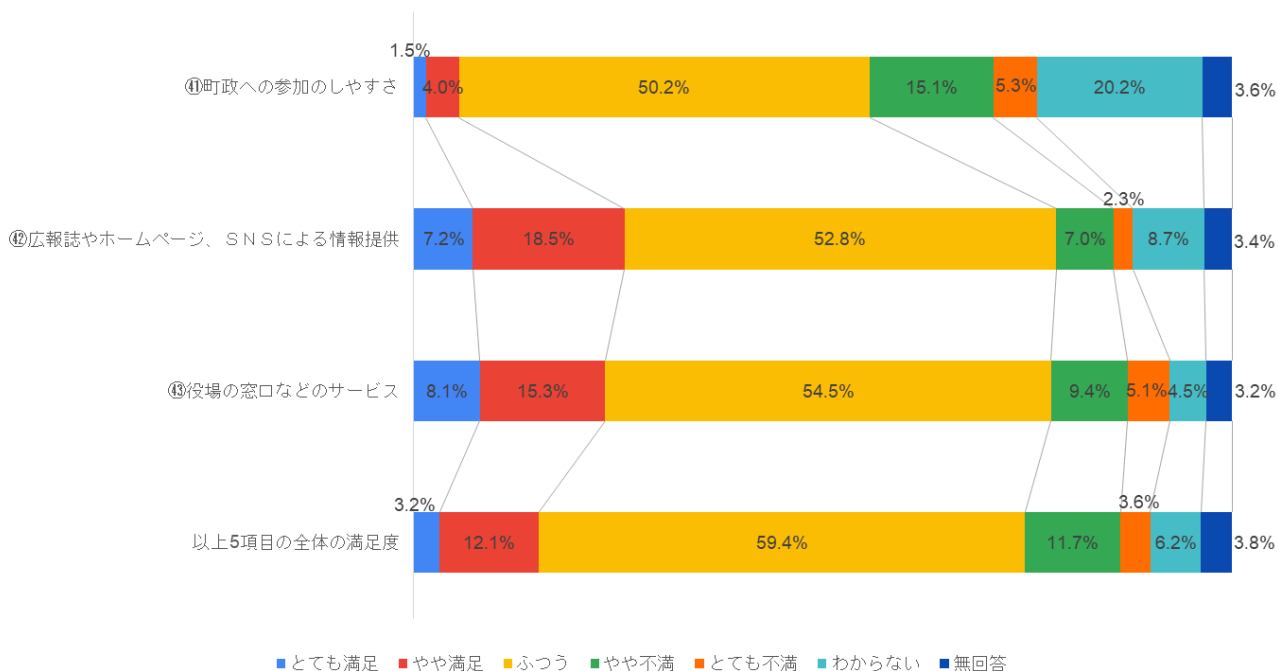


【6 町政への町民参加や行政サービスに関する項目】

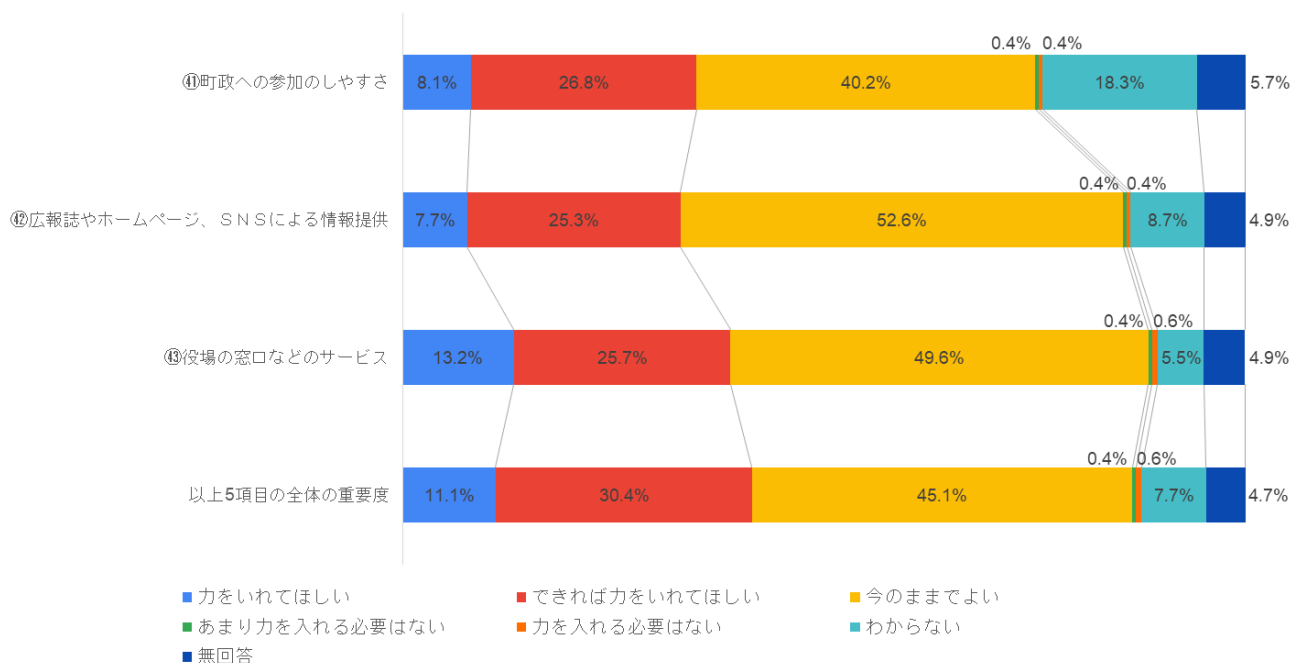
町政への町民参加や行政サービスに関する「現在の満足度」については約半数の町民が「ふつう」と回答しているが、「④町政への参加のしやすさ」については、不満傾向が高かった。

「今後の重要度」については、「役場の窓口などのサービス」「町政への参加のしやすさ」「広報誌やホームページ、SNSによる情報提供」の順で力を入れて欲しいとの回答であった。

6 町政への町民参加や行政サービスに関する項目「現在の満足度」



6 町政への町民参加や行政サービスに関する項目「今後の重要度」



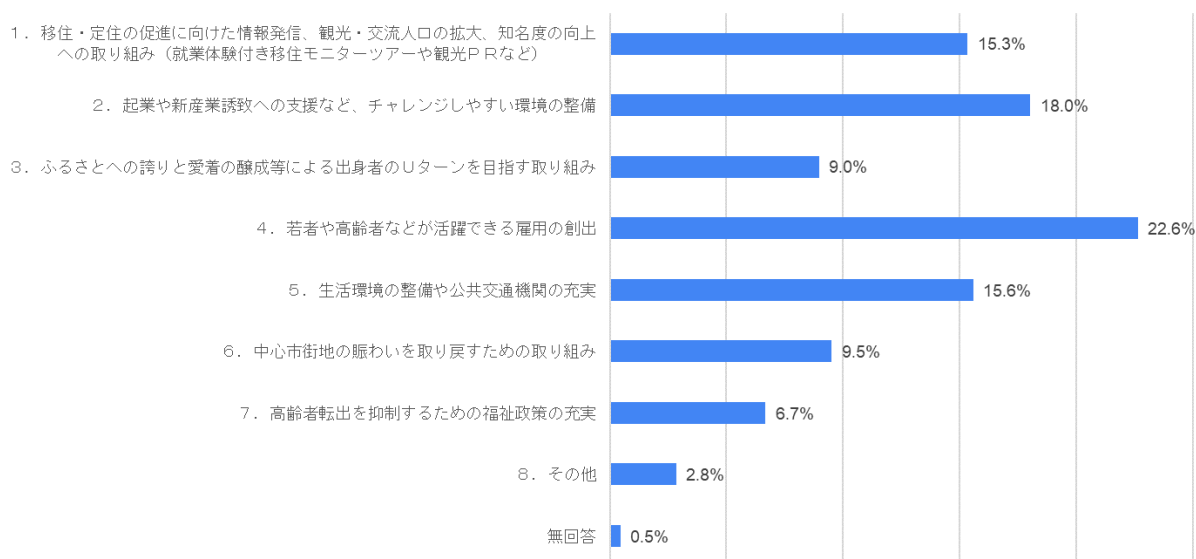
■将来に向けた人口減少対策についてお伺いします。

問19 羅臼町は毎年、転入者よりも転出者が多い状況が続いていますが、この「社会減少」を食い止めるための取り組みを行うとき、どのような政策に力を入れるべきだと思いますか。3つまで選んで番号に○印を付けてください。

「4. 若者や高齢者などが活躍できる雇用の創出」が22.6%と突出して多くかった。様々な職場において労働力不足が叫ばれているが、求人者側からも雇用の創出が求められる形となった。求人はあるものの「働きたい」「働ける」職種が無いということも要因の一つと思われた。次いで多かったのが、「2. 起業や新産業誘致への支援など、チャレンジしやすい環境の整備」の

18.0%であり、新しい職種や企業による雇用機会の創出、新たな発想から起業へ至る後押しを期待する現れと考えられた。

その他（2.8%）では、子育てや漁業振興、雇用、医療、移住など幅広い分野での意見があった。



- その他
- ・子育てしやすい環境の整備と子育て支援策の充実）
 - ・子ども手当の充実（資金面だけでなく、高校給食、修学旅行費補助、幼・中・高の制服リサイクルなど）
 - ・標津みたく子育てのしやすい町に
 - ・羅臼高校通学費、制服代等の補助。学生寮（町営）の運営
 - ・漁業の振興
 - ・漁協と協力し、漁業の育成を明確にして実施すべき
 - ・漁業中心の町なので、漁業者を増やす対策に力を入れる
 - ・地元の若い世代が商売する気になる環境が必要。何よりも2番だと思ふ。外資でも何でもいから誘致なりの対策してほしい
 - ・安定した収入の就職先がなければ、子供達も出るし、親も出ていくでしょう
 - ・働く場所を作る
 - ・稼げる産業の創出
 - ・賃金が低い、働くところが無いなど
 - ・若者などが活躍できる雇用の創出（高齢者はどうでもよい）

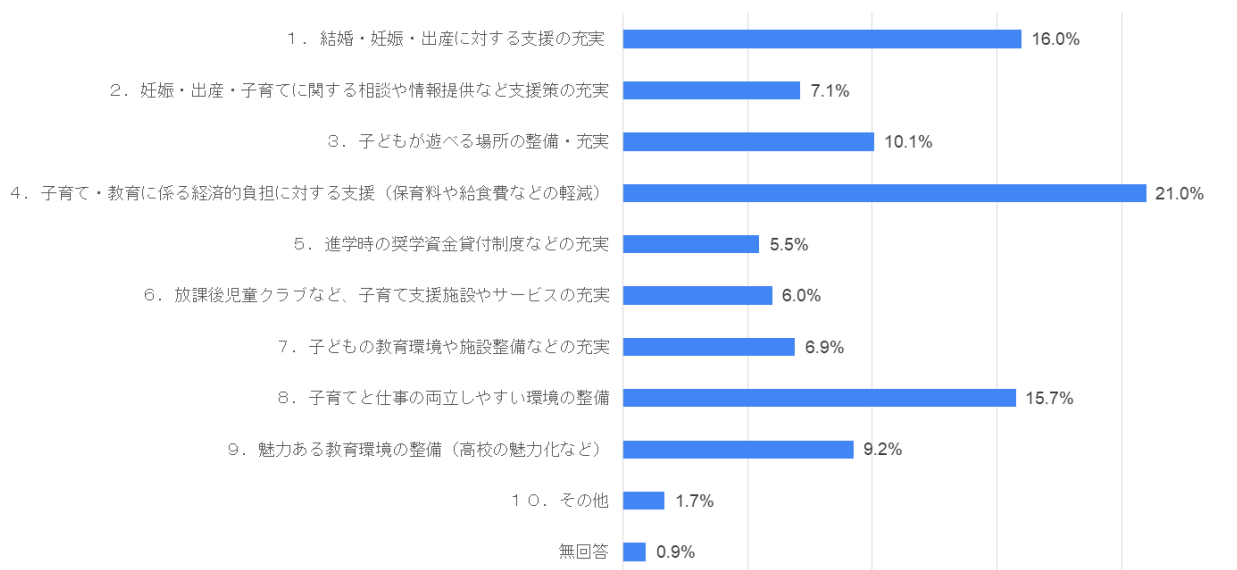
- ・若者などが活躍できる雇用の創出
- ・年間を通して安定して働ける就労環境
- ・医療体制の充実
- ・医療に力を入れてほしい。小児科や皮膚科等、常時受けれるようにしてほしい。買い物をする場所や物を増やしてほしい。これらが欠けているため羅臼以外で病院や買い物を利用してはいます。
- ・高齢者だけの世帯や、ひとり暮らしのお年寄りに定期的に訪問して困っていることないか話しを聞いてほしいです。例えば、雪の除雪、買い物にタクシーを使っていたり、身体が弱って生活に困っている人、行政との繋がりがあれば精神的にも安心して暮らしていけるのではと思います。
- ・高齢で車の免許を返納した後に移動手段がなく、釧路の病院に通院の時に割引になるバスの回数券を町で発行してほしい。
- ・高齢者転出を抑制するための福祉政策の充実
- ・高齢者施設等の介護従事者の充足を最優先する。
- ・幼少期より取り組んでいる知床学を活かした仕事ができるよう、大学の推薦制度と活躍の場の作成
- ・特徴ある学び環境。幼稚園から学ぶ、①町民全員が英会話ができるように、②楽器が弾ける、③環境汚染などの知識を詳しく知り、取り組むなど
- ・住民が生きがいを感じられる暮らしを送るための公共施設・公民館・図書館の充実
- ・子供たちや若い世代が気軽に買い物したり、遊んだりする場所がほしい
- ・住む家の情報が無い
- ・移住促進に向けた受け入れ体制と支援のしくみづくり
- ・アパート等が少ないため戻ってきても住むところが無い
- ・移住・定住を推進するうえで、住環境の整備充実が必要。例えば、移住してくる人のための分譲地整備。また、移住者のコミュニティ創出なども受け入れ準備として検討を進めておかなければならないものと思う。こういったハード、ソフトをしっかりと整備しないうえで、既存の住宅改修等ですませても進展はしないと思う。大きな経費は掛かるが、魅力的な立地の場所もある。短期的ではなく長期的に目標定めて取り組んだほうが将来的な成果は出るものと思う。
- ・町民としてのほこり[町外者に対して]、観光施設、「魚の城下町」のプライド持てる内容でなければだめ等々
- ・女性が働ける行政サービス・町づくり、進学で羅臼を一度離れた子どもたちが戻ってきたい町づくり

問20 羅臼町は毎年、出生数よりも死亡数が多い状況が続いていますが、この「自然減少」を食い止めるための取り組みを行うとき、どのような政策に力を入れるべきだと思いますか。3つまで選んで番号に○印を付けてください。

「4. 子育て・教育に係る経済的負担に対する支援（保育料や給食費などの軽減）」が21.0%と突出して高かった。次いで「1. 結婚・妊娠・出産に対する支援の充実」「8. 子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」の順となり、出産に至るまで、また、子育て期の家計負担に係る項目が目立

つ結果となった。

その他（1.7%）の意見としては、働く場所、住む場所に関する意見が多く見られた。



その他 ・問 19 が問題だと思う

- ・若者が帰って来れる羅臼町に。就職先など
- ・この件はある意味やむを得ないと感じている。上記 1～9 まで対応しても、世代の関係から具体的な解決にはならない。企業誘致と雇用（他市町村から）対策が必要である。
- ・結婚しても住む家が無く、経済的にハードルが高いです。パートナーひとりの収入では生活が出来ない。現状では安心して子育てすることに不安です
- ・若者が町外に出て年寄りしかいなくなったら、子供が増える訳がない
- ・町内の生徒が標津高校に通学していることに高い危機意識が必要だと思います
- ・通常の学校の他に、らうすの特色を活かした自然学校を作り、児童が選択できる余地を作る。（※沼田町そらち自然学校参照）フリースクールがないのも困る。
- ・若人世代の人達が安定して働ける職場があれば。定住できず町外へ行ってしまうので、それを何とかしたい。定住できれば、自然と子供も増えるのではないかな！
- ・若い世代がほとんど町外へ出るので減るのは当たり前。もっと減る。近い将来。羅臼に戻りたい、住みたいと考えている人の住居がすぐに見つかる環境。思い切った政策。一人ものでも公住に入れるようにするとか。空き家を整備して貸し出す。
- ・雇用の確保
- ・若者の定住、仕事
- ・一家庭で子供の数はそんなに変わらないので、家庭数を増やす工夫をする。家族で移住し、働ける支援を厚くする。若手が働ける仕事（観光など）充実
- ・I ターン、U ターンと、地元の若い世代が羅臼町に定住することが大事
- ・若者の転出を止めないと変わらない。上記の項目では若者の転出は止まらない。
- ・障がい児・者等の支援施設・支援策の充実
- ・男性の育児参加
- ・高齢化では仕方がないこと。出生数は関係ないと思う。子どもの環境ばかり考えるのではなく、いつまでも健康でいられる環境を整備すべき。

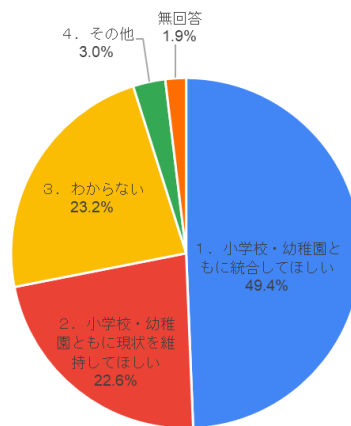
- ・健康づくり、予防活動
- ・若者がこの町で暮らしたいと思える魅力あるもの。小児科の充実。

■将来に向けた教育環境についてお伺いします。

問21 今後、人口減少に伴い園児・児童数が減少し、複式学級になることが見込まれている将来の小学校と1クラス5名以内となる幼稚園の教育環境について、あなたのお考えにあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

幼稚園・小学校の統合については、「1. 小学校・幼稚園ともに統合してほしい」が49.4%と多く、次いで「2. 小学校・幼稚園とも現状を維持してほしい」が22.6%、「3. わからない」が23.2%であった。

その他（3.0%）では、現状では統合は仕方がないという回答が見られた。



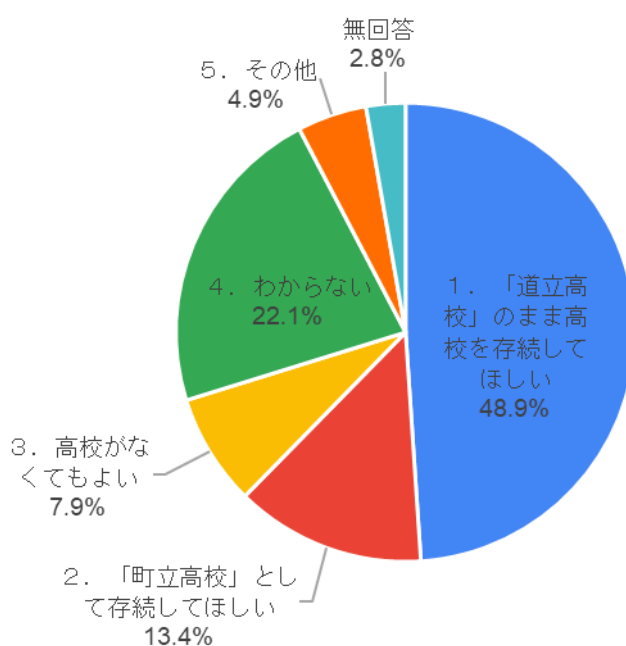
- その他
- ・小中を一緒にしてほしい。する計画がそもそもなかったらなくて良いです。すみません。
 - ・1校2園化：環境に馴染めない生徒に幼・少・中と12年間同じ教室にいることは苦痛だと思うので、現状の2校が一番良いが、複式になるのであれば1校が妥当です。幼稚園は少人数でのびのびと育ててもらいたいと思いますので、2園が良いと思います。
 - ・スクールバスを用意した上で、小学校のみ統合してほしい
 - ・フィンランドの教育とか、色々な国を参考にしてみてもどうでしょうか
 - ・小学校は統合しても仕方がないが、幼稚園は今までどおりしてほしい
 - ・地理的に負担が大きくなるのが心配
 - ・丁寧な議論が必要
 - ・町民に説明してほしい
 - ・通学による子供への負担が解決されれば1で良いと思う
 - ・統合してほしい訳ではないが仕方ないと思う
 - ・統合せざるを得ない
 - ・幼稚園は現状で
 - ・統合は仕方ないと思われるがそれらにかかる子どもの負担、保護者の負担には十分ケアが必要（複式学校でも良い）

- ・多くの町民が求めることが大事

問22 今後、人口減少に伴い生徒数が減少し、統廃合の対象となる可能性がある羅臼高校の存続について、あなたのお考えにあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。(公立高等学校配置計画では、5月1日現在の第1学年の在籍者数が2年連続10人未満となった場合は、再編整備を進めます。)

羅臼高校の存続については、「1. 「道立高校」のまま高校を存続してほしい」が48.9%と多く、次いで「4. わからない」が22.1%、「2. 「町立高校」として存続してほしい」が13.4%であった。

その他(4.9%)としては、高校を存続して欲しいという回答が多かった。



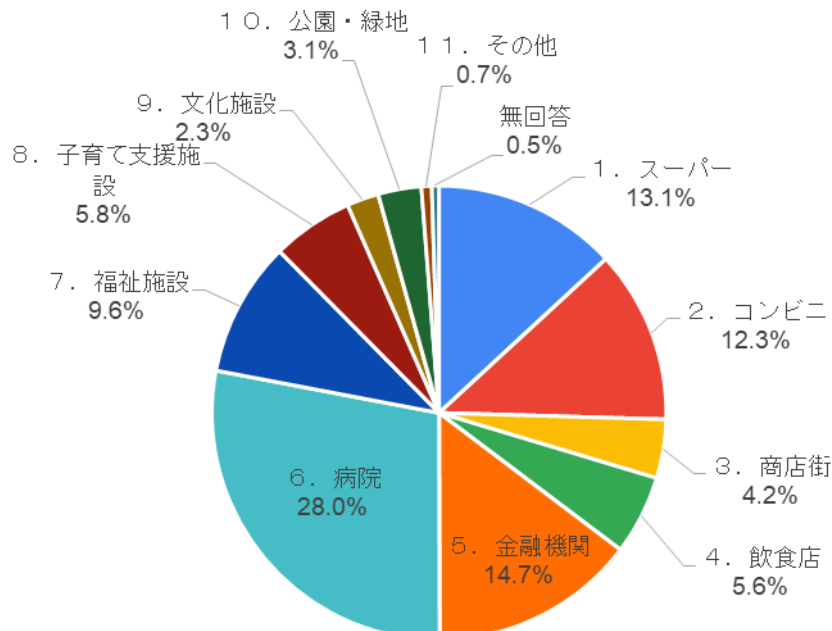
- その他
- ・残るのならば、どちらでも良い
 - ・そうならないようにもっと工夫してほしい
 - ・そもそも子供がいない
 - ・どちらでもよい
 - ・運営主体がどこであろうと町内から高校が無くなる事に不安を感じます
 - ・外から生徒を呼べるように付加価値をつける：進学コース etc
 - ・個性のある学校経営をしていただきたい。そのために足枷になるのであれば道立でなくても良い
 - ・高校が存続するのであれば形にはこだわらない
 - ・高校はなくてもよい。これから町に必要なのは外に出ていろいろなものを見て、しっかりと学び、第三者目線で町を変えてくれる方が多くUターンしてくれること。
 - ・高校はなくなってほしくないが、無理やりの存続で生徒たちの教育などに影響があるのならばなくなってしまっても仕方がないとおもう
 - ・世界自然遺産に特化したカリキュラム及び人材育成

- ・町の考え次第。自分では仕事場の高校生のイメージが悪く、子どもには羅臼の高校へ通わせようと思っていないため
- ・道立のままがいいが、それがダメだったら町立で
- ・母校ではあるが…昔の様に分校はないのかな
- ・羅臼高校に来たくなるようなPRをしたらどうですか
- ・基本道立、道立が無理なら町立でも良いので高校を残す、でなければ進学に対する助成等々を実施。
- ・道立町立にはこだわらないが高校は残すべき（進学したくなる学校づくりは必須）
- ・なるようにしかならない
- ・町立にして町外からの入学生が殺到するような高校にしてほしい。
- ・ビジョンがない存続を目指すのなら、自然になくとも仕方ないと感じる。
- ・高校が無くて良いが他地区へ通う場合の助成が必要
- ・多くの町民が求めることが大事
- ・子どもがいたら地元には進学させないと思うので、なくても困らない

■将来に向けた生活環境についてお伺いします。

問23 今後の暮らしにおいて、お住まいの近くに欠かせないと思う施設を3つまで選んで番号に○印を付けてください。

「6. 病院」が28.0%と最も多く、次いで「5. 金融機関」が14.7%、「1. スーパー」が13.1%、「2. コンビニ」が12.3%であった。



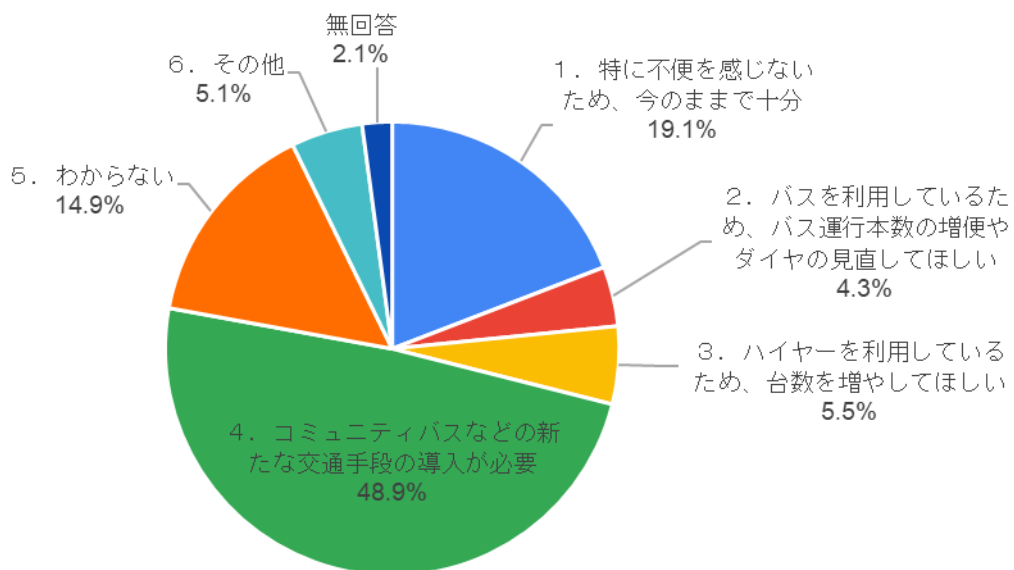
- その他
- ・公園が防災になっていることです。例えば、トイレに、井戸水に。
 - ・図書館・勉強できる施設
 - ・ホテル等宿泊施設
 - ・全部

- ・交通機関
- ・公共のトイレ完備。他町から来る方に対し年間を通して。困ってますよ！
- ・実際に使える避難所
- ・町外からの移住者などの活動拠点
- ・お店
- ・スキー場
- ・もっと自然と触れ合うイベントや場所。
- ・歩いて行けるバス停
- ・動物病院
- ・本屋

問24 羅臼町では現在、バスとハイヤーの運行により皆様の移動の足として役割を担っていますが、利用者の減少などが課題となっています。今後の公共交通のあり方についてあなたのお考えにあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「4. コミュニティバスなどの新たな交通手段の導入が必要」が48.9%と突出して多かった。自動車運転免許を返納した方や将来的に返納するであろうと考える方の回答が多かったのではないと思われる。

その他（5.1%）では、ハイヤーの営業時間やバスの便数に関する意見が多かった。



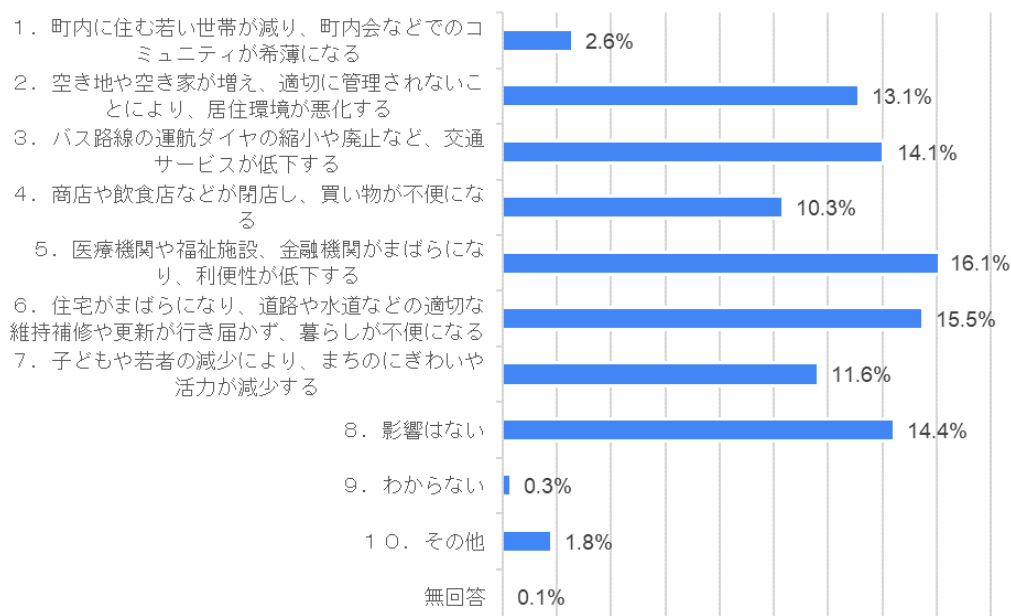
- その他
- ・ハイヤーがないため飲食ができない)
 - ・スクールバス（平等な部活動を行うため)
 - ・ハイヤーの運行時間が短すぎる
 - ・ハイヤーは役に立っているのでしょうか？電話もつながらなくなり、使いたい時に使えません
 - ・ハイヤー運行をバス会社が実施する
 - ・バス運行に町の負担もわからないので、町民には知りえない

- ・一人世帯老人等、病院等へ行く手段を！
- ・営業が早すぎる、ハイヤーの利用に困る
- ・夏場は学生利用が増えるため、通学時間は台数を増やしてほしい
- ・現在は不便さなし（車使用のため）。高齢になった時に運転技術や、免許証返納で移動手段（買い物、病院、娯楽など）がなくなる。バスは時間がかかる
- ・今は不便はないが近い将来必ず無理が生じる
- ・使いたい時にハイヤーがないのは不便
- ・子供が少年団、習い事に使用できる時間（夕方～夜）の便を増やして欲しい
- ・自動運転乗合タクシー
- ・町民の利用は益々減るんだから増えていく観光客も利用しやすいダイヤを検討したほうが多い
- ・土・日・祝日のバス（釧路行）の便に見直しが必要！！飛行機に合わせる便が欲しいです
- ・夜の交通手段がない
- ・社協などの既存の仕組みを積極的に活用させる支援
- ・必要な人はいます。必要な方々の意見を聞いてあげてほしい。
- ・利用できる時間を延長してほしい。
- ・夜間のハイヤー運行
- ・ハイヤーについて飲食店が閉まる時間までは営業してほしい。
- ・自分は不便を感じないが、この先どこにも行けない人が羅白に残ると思うのでバスやハイヤーでは対応できないのではないか。
- ・学校が休みの日は運休になっているが部活動などでバスを利用したいが運休なので使用できないので学校が休みの日も運行してほしい。

■将来のまちづくりについてお伺いします。

問25 今後、人口減少や少子高齢化が進むことで想定される影響についてお伺いします。あなたのお考えにあてはまるものを3つまで選んで番号に○印を付けてください。

「5. 医療機関や福祉施設、金融機関がまばらになり、利便性が低下する」が16.1%と多かったが、平均的に他の項目も多く、人口減少や少子高齢化が進むことで、受けられる公共サービスや利便性の低下、住空間の変化が起こると考えられている方が多いことが分かった。

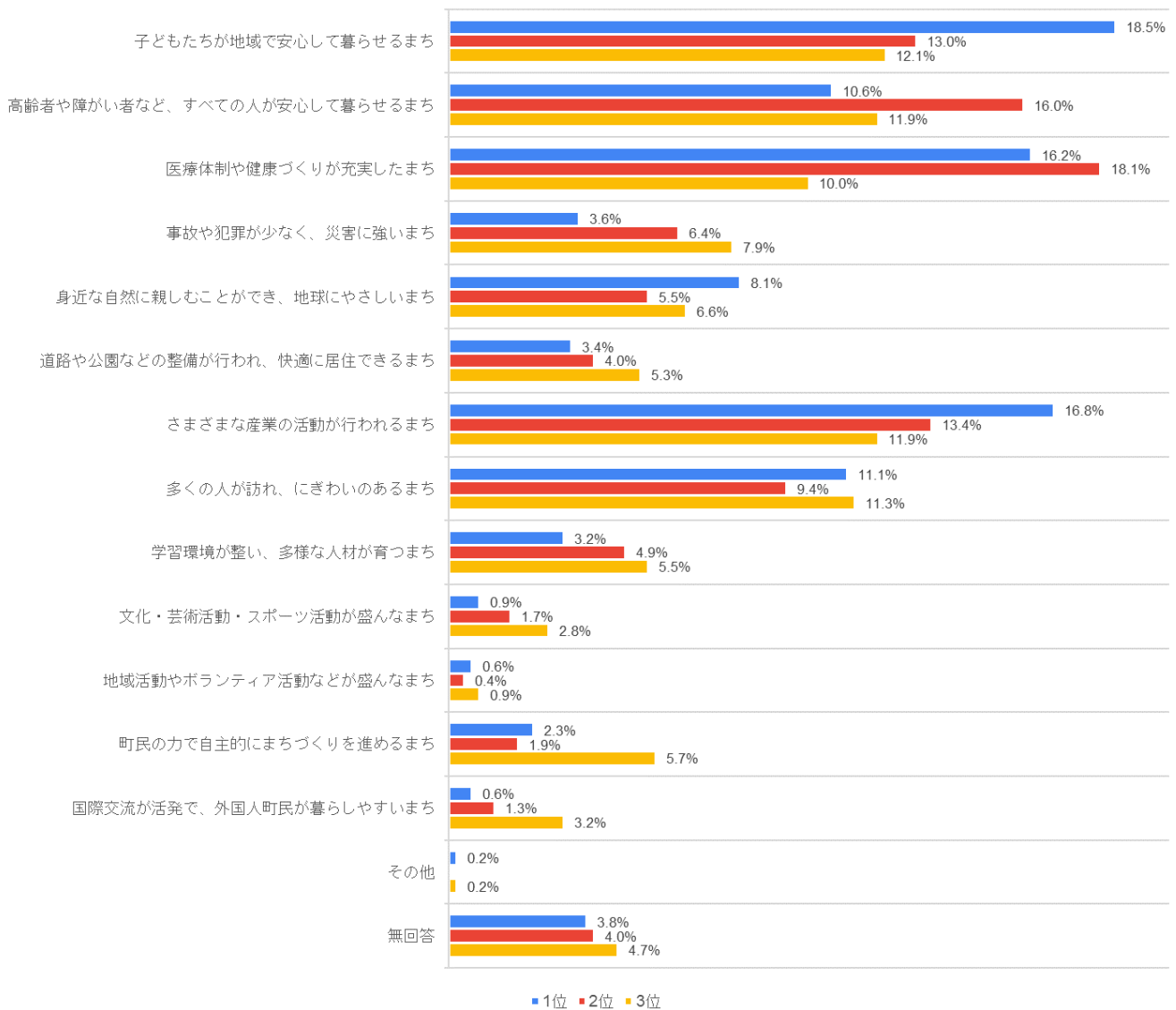


- その他
- ・後継者不足による漁業の衰退化
 - ・全てに当てはまるので、町が維持できなくなる日も近い。行政サービスもそのうち限界がくると思うので、町民レベルでやらないと住んでいけないサービス等が出てきてあたり前のようにやるようになる。町民はその事がわかっていないと思うので、将来の羅臼の行政等のシミュレーションを町民に知らせ、心がまえを持ってもらい真剣に考えてもらう
 - ・病院がもうクソ
 - ・税の負担が増える
 - ・経済的力がある家だけが残っていくのでしょうか？
 - ・現状が上にのべられた様子だと思う
 - ・働く人の人手不足
 - ・それはそれで楽しみ
 - ・雪害対策
 - ・高齢者を支えきれなくなることと、産業の衰退
 - ・町が衰退していく
 - ・羅臼町が存続できなくなる

問26 あなたが望む将来の羅臼町のイメージとしてふさわしいと考えるものを1位から3位まで選んで一番右の枠の中に、順位（1・2・3）を書いてください。

1位で最も多かったのは「子どもたちが安心して暮らせるまち」の18.5%で、次いで「さまざまな産業の活動が行われるまち」が16.8%、「医療体制や健康づくりが充実したまち」が16.2%であった。未来を担う子どもたちが安心して暮らすことができ、産業活動が活発に行われる町であることへの願いの表れと考えられる。

あなたが望む将来の羅臼町のイメージについて（1位～3位）



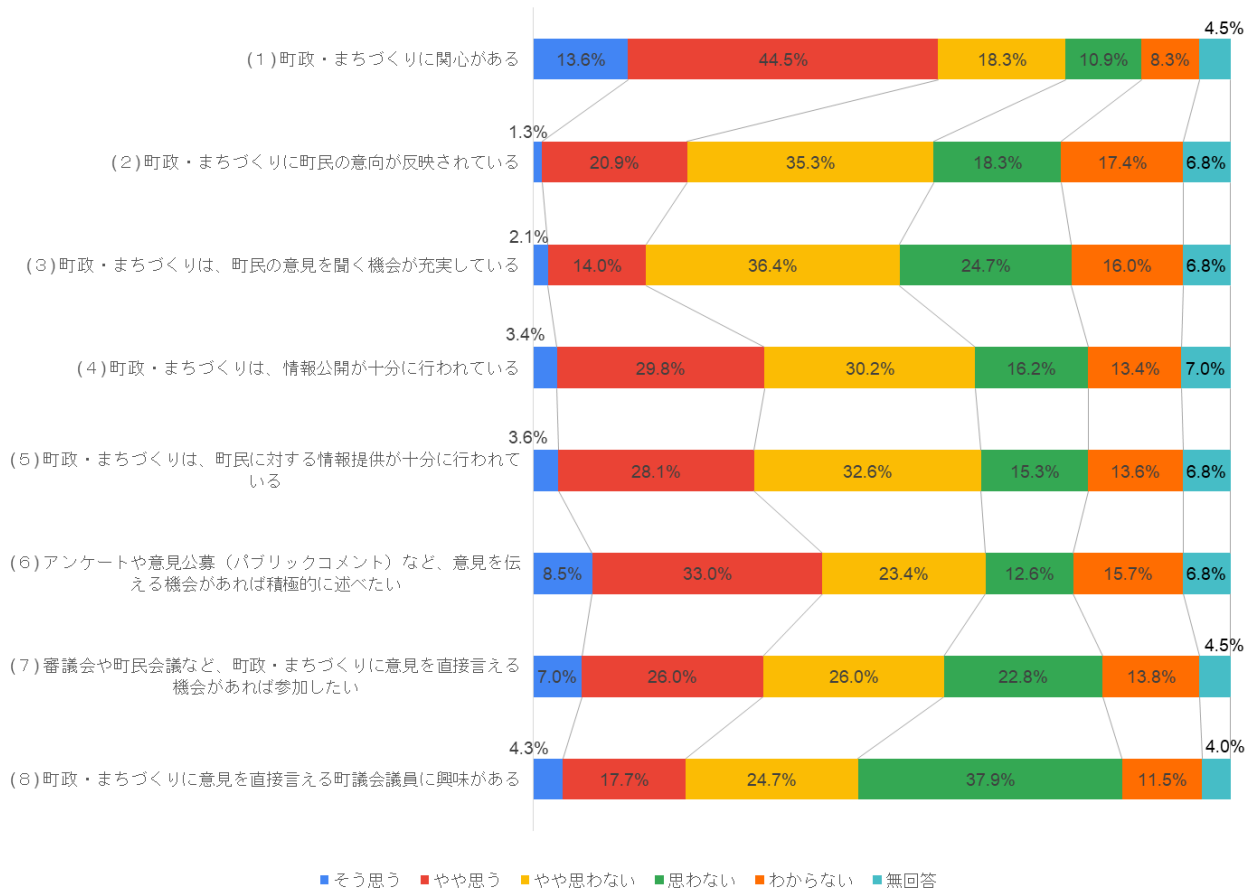
- その他
- ・全国及び観光客が、知床＝ウトロがむなし（かなしい）。もう少し全国に、知床＝羅臼を定着して欲しい！
 - ・産業が親の世代で終わらないサポート。何かいい方法があればいいですね

問27 あなたは、羅臼町のまちづくりや町民参加についてどのようにお考えですか。それぞれ1つつ選んでアルファベットに○印を付けてください。

「(1) 町政・まちづくりに関心がある」で回答者の58.1%、「(6) アンケートや意見公募（パブリックコメント）など、意見を伝える機会があれば積極的に述べたい」が41.5%とまちづくりに関

心があり、自らの意見を伝える機会を求めている傾向が見て取れた。これは「(2) 町政・まちづくりに町民の意見が反映されている」や「(3) 町政・まちづくりは、町民の意見を聞く機会が充実している」でまちづくりに町民の意見を聞く機会が不足している、意見が反映されていないと考える回答者がそれぞれ半数以上存在することが要因と考えられる。

また、「(8) 町政・まちづくりに意見を直接言える町議会議員に興味がある」は62.6%の方がそう思わないと回答しており、行政・議会ともに広報・広聴に関し十分ではないと認識されていることが示唆された。



問28 最後に、新しい総合計画の策定にあたって、将来にわたって住み良い羅臼町を維持していくためのアイデアやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・期待していない
- ・自然、観光、産業の発展
- ・スーパーマーケットの導入。コンビニ ATM の導入。
- ・観光に力を入れて欲しい。そこから多岐に広がってくと思う。観光客、移住者が集まった事に伴い、生活が豊かになる施設を増やしてほしい。高齢者が多いのは分かるが、このままでは若者離れは止まらないと思う。
- ・子育て世代、共働き世代からすると、羅臼町は年々、共働きしづらくなっていると思います。保育園に預ける手続きや放課後児童クラブへの加入手続きに制限がありすぎるのと、対応する役場が柔軟に対応する姿勢ではないことが原因と考えます。法律で決まっていることも多いと思いますが、

その法律の中で、できる限り対応しようとする姿勢かなければ、不満ばかりが溜まっていくかと思っています。業務が多忙で手が回らないこともあるかと思いますが、町民に寄り添う姿勢を見せて対応していただきたいです。

- ・ 役場職員をはじめ町内の企業や団体を対象に、論理的思考力を培う研修をしてほしい
- ・ 子どもたちが安全に通えるようにスクールバスを整備してほしい。
- ・ 子育て中の世帯への支援を拡充してほしい。
- ・ 日本で一番、子育て支援がある町になってほしい。
- ・ 医療費の負担がないので、安心して病院に通えて嬉しいです。
- ・ 羅臼のために働いている方たちを守ってあげてほしい。労働の環境を良くしたり、住宅を整備して、羅臼のために働きたいと思う人を大切にしていってほしい。
- ・ 羅臼町は家族親族の結びつきが強く現代の日本の社会において気薄となった人と人とのつながりは素晴らしいと思う。自然環境や海の恵みも他に類を見ないものだと思う。無い物ねだりするだけでなく羅臼町の素晴らしさを町民が改めて知り自信を持って暮らすことが先決、その上で行政ができることを町民目線で取り組んで欲しいと思います。
- ・ 捕るだけ捕る漁業から育てる漁業へ
- ・ どう足掻いても住みづらいので、最低限の行政サービスは維持して、良い点を積極的にアピールしてほしい。
- ・ 行政は企業誘致など、民間ではできないことに注力してほしい。
- ・ 特に公共・民間の医療・福祉施設等の整備は充実してきたが、従事者の不足が深刻である。運営者に任せることなく協力して人材確保に最大限の努力をすべきである。
- ・ 持続できる産業が増えてほしい。特に漁業は資源量に左右されやすく、関連する産業（水産加工、販売、飲食）に影響がしやすい。また観光業も社会情勢によっては影響が出やすい。よって海洋資源や社会情勢の影響を受けにくい産業を創出しなければこの町は先細る一方。企業の誘致を行い、新たな雇用を生み出すよう努力すべきである。
- ・ 観光客の受け入るために充実した施設を作るべき。特に道の駅以外の公衆トイレ、日帰り入浴施設の新規開設。
- ・ 労働力不足があらちちで聞こえてくる。町で職安（バイト案内）などはどうか？
- ・ 町内の宿のキャパは限りがあるので、キャンピングカー用の駐車場の整備はどうか？（港や道の駅で多数の利用者を見かけるので）
- ・ いまいる子ども達やこれからの羅臼の子ども達のための計画となってほしい。高校を存続するために全国公募することや、そのために寮や下宿などの議題に出ているようですが、まずは今いる羅臼の子のために学力向上や文化、スポーツ活動が盛んになるように取り組んでほしい。現在、ICT化も進んでおりオンラインで学ぶ環境も出来ており、オンライン高校など、ただ存続だけにこだわらなくてもいいと思います。
- ・ お金をくばろう！！
- ・ ご苦労様です。アンケート量が多いように見えます。これでは職員の負担が重すぎに感じます。要点を絞って進めないと、いつまでも改革、進展しないと思います。がんばってくださいね。応援しています。
- ・ スーパーがあったら便利、婦人部に強制的に入会させられるのが不満、幼稚園・小学校の駐車場がせまい

- ・セブンイレブンやローソンのようにATMのあるコンビニが近くにほしい。
- ・まず基本的なゴミのポイ捨てをやめる。⇒自然環境 納税を納める⇒財政の確保 ここは世界自然遺産です。もう少しそれを活かした町づくりを強く希望します！！
- ・まちが繁栄するには産業があり、それを活用する人が必要だ。ラウスのこれから労働人口が足りない。労働人口の確保について、全町的に知恵をしぼるべきだ。
- ・まちづくりを考える上で、基幹産業の安定は不可欠、役場と漁協の連携の充実
- ・意見ではなく疑問なのですが、国道・羅臼川沿いの外灯の長期不点の理由についての広報等にて告知はあったのか。返事は聞けませんが。
- ・医療体制が一番必要。子供たちが住みやすい町にして、羅臼に住みたい町にしてほしいです。そのためにもっと若い人ががんばってほしい。
- ・育てる漁業に力を入れてもらいたい。
- ・一度、町をぶっこわした方がよい。つくりなおしましょう。考えが古いよ。
- ・一度でも他所に住んでいたのなら、もっと違う意見を出せたのかもしれない。お役に立てずに申し訳ないです。
- ・先日、中標津町に移住してきた人に、なぜ中標津を選んだのか？と質問したら、「中標津町の子どもたちは道路を渡る時車が停まってくれたら、渡り終わった時に振り返りお辞儀をしてくれて。自分の子どもにもこんな子どもに育ってほしい、ここで子育てしたいと思って選んだ」と聞きました。私もそう思っていたので、同じ道東を選んでくれたことにうれしく思いました。その帰り、中標津で指定ジャージを着た中学生が、私の車に対しお辞儀をしてくれました。とてもほっこりして心があたたかくなりました。"ここで子育てしたい"と思ってもらえる町って素晴らしいと思います。うらやましいと思いました。みんなにやさしい町、やさしい大人、元気な子どもを目指せたら良いです。
- ・子育て支援については、となり町には随分と差をつけられています。今からでも子育てに力を入れてもらいたいです。
- ・子育てに一段落している私に出来ることがあったら協力したいと思います。どうか、子どもたちの目をキラキラにしてもらいたいと思います。
- ・餌付け（観光船）は良くないと思う。
- ・観光リゾートをつくったほうが良いと思う。
- ・観光客が私有地に入り、写真を撮ったり、車を止めたりする。（無許可で）観光バスがバス停に停まり、観光客が道路を渡り、私有地を何人も入っているのを見た。フォトスポットがわざわざあるのに私有地に許可なく観光客が入ってくるのは非常に不愉快だ。フォトスポットがあると看板を立てたり、立入禁止区域だとわかるように私有地に立てる柵やチェーンを支給するなど至急対策していただきたい。
- ・観光中心のまちづくり。ホテル・飲食店を増やし、雇用を増やし、観光客が満足できる環境作り、リピーターを増やす。日本で唯一自然のシャチが観られる特別な感じをもっと町全体で盛り上げる。季節ごとに違うイベントを行って、沢山の観光客を呼んでみたりして、羅臼の人達も参加しやすいイベントを考えてもらいたい。
- ・漁業が衰退していくと羅臼の町はダメになっていくと思います。昔からの漁業権というものを改めて、後継者の居ない家に誰でも挑戦できる仕組みを考えて生活していける手助けを知恵を出し合っ、若い人が興味を持てるように仕事を斡旋することが出来ればと考えています。

- ・誰でも歳をとって人の助けが来る時、羅臼の町なら大丈夫と思えるように、介護や医療に力を入れて下さい（大変な仕事には高い報酬をお願いします。働くスタッフが集まると思います）
- ・ウクライナのように何が起こるかわからない時代です。町の至る所に簡単に出来る小さな防空壕的な物は出来ないのでしょうか。昔は町内で作ったのでしょうか？
- ・国はあてにならないので、羅臼独自で自然エネルギーに変えるのはどうでしょうか？風力と太陽光に切り替えて町の施設だけでも電気の節約になるのでは。財政難だと思いますが、一番必要な所から力を入れてほしいと思っています。
- ・漁業だけではなく、もっと世界遺産知床の町として観光に力を入れて、活気のある羅臼に進化して行ってほしい。
- ・漁業の漁が減ってきているから海を綺麗にしたり、養殖に力を入れたりしていったらいいと思う。世界遺産でも街中にゴミが多いのもよくない。観光シーズンの時、宿が少ないのも気になる。
- ・漁業の町らうす。これからの子供たちに漁師をつぎたいと思う子はいるのでしょうか。とても働きづらいらうすになっていませんか？厳冬の冬。2週間に1回の休み。夜中1時～PM5時まで。今は流氷がきて、朝遅くなりましたが、体がとてももちません。とても無理がかかり、手も冷たく凍傷ものです。（あたためたくても怒られ、やさしさもなく厳しい昭和そのものです。）もう少し魅力のある仕事になるよう変えてほしいのです。
- ・漁業の不振、人口減、コロナショックやロシアのウクライナ侵略などの影響による景気悪化で、現在、町は厳しい状況に追い込まれている。将来に向けた取り組みを今から行わなければならないと思われ、漁業関係では国が進めるブルーカーボン事業への取り組み、観光では新たな観光スポットの構築などが必要と思う。
- ・魚の町なのに地元の魚が手に入りにくい。
- ・空き家の撤去又はリノベーションして羅臼に住みたい他町の人に売る貸すなど。スクールバス（専用）にしてほしい。自然に気軽に触れ合える場所。買い物できる場所。冬でも斜里側に行く事が出来る道（冬に陸の孤島となる不安感）。支援など該当する家庭への呼び掛け（言わないと支援を受けられない町は不信感しかない）。移住の ZOOM 相談の内容の空っぽさを何とかするべき。このままだったら無い方がよい。相談とじっくり無責任すぎる対応。役場の各受付の方々の雰囲気や対応が、他の町と比べてものすごく優しく、この町に来た時すごく安心した事を良く覚えています。いつもありがとうございます。羅臼に移住はかなり難しいのですが、他の町からの移住はしてほしくなく、今住んでいる人たちがどうしたら出ていかないか…という事なののでしょうか。
- ・空き地バンク、力入れて下さい
- ・交通には少し不便ですがとても良い所です。
- ・公民館がほしい
- ・行政、議会と一般町民の意識（志）乖離を感じる。情報公開と対話の場を多くするべき。行政と町内会等の連携強化すべき。実のある計画が策定されるよう、祈念いたします。
- ・今、町に住んでいる若者と U ターンで帰ってくる人を増やさないと、この町は本当に高齢者しかいない町になってしまうので、リゾート化でもして、町民全体が働ける環境にできたらいいですね。
- ・今の時代、何が起こるか解らない時代。色々と物価高など、又機械、工業などの職人など居なく産業（漁業）を守って行く不安が強い。このままでは、羅臼町に住む人が居なくなると思う。
- ・今までの延長施策で町行政を考えるのも大切だが、全く新しい（例として、ベーシックインカム制度）行政策も検討すべき時期だと思います。

- ・昨年、道央から転入した者ですが、思っていたより住めば都で日用品・食材も最低限の物は入手できる事から安心して住んでおります。小中高と学校もあり究極のコンパクトシティですね。スーパーがなくてもネット通販で対応でき、インターネットで娯楽についても充実しているので情報が途絶した大昔の環境では計れない今のニーズをより精査すると良いのではないかと感じます。羅臼の強みは魚介ブランドと知床自然の観光資源、北方四島と国境の町です。観光客は知床といえば斜里とされているようですので、羅臼でより多くの宿泊・飲食施設の選択肢があれば経済的にも潤って雇用を創出し定着する人も増えるのではないかと思います。九州出身者ですが、羅臼町は魅力あふれる良い町だと感じます。おいしい物あって人もやさしいし、羅臼町の方はもっと誇りに思ってください。あと2年しか住めませんが羅臼の魅力を発信してゆきますので、地域の活性のために役場の方も大変ですがともに頑張りましょう。
- ・参考になりませんが、自由に書きます。楽しい町づくり。子どもの性格が明るくなる教育。男女がワクワクする魅力ある生き方。年寄りが健康で長生きしたいと思える人生観。
- ・子どもが遊べる場所がもう少しあれば良いと思います。スーパーもあれば尚良し。引っ越して来たばかりですが、すごく好きな所なので、活気のある街になってほしいです。
- ・子育てがやすく、働きやすい町であってほしい。
- ・子育てのしやすい町に。標津のようになってほしいです。
- ・子供達が遊べる所が、らうすぽのプレイルームのみで違う場所も作ってほしい。公園もあると良いです。
- ・私達が若かった頃と違って、電子機器の発達により個人ですべてがかなえられる時代となったことから、皆んなで何かをしよう、又は何をするかを考える人が少なく、このことが活気のない町となっているのでは。まずは、基本的にこのことを根本からどうしたら良いのかを考え、このことを町民一人一人に自覚してもらうことが大事である。何をすることも非協力的な人が多いと、したいことも出来ず、何をすることも前に進まないと思われる。
- ・若い人の流出を避けるべき。他町から呼び込むなら、何かに特化した高校にすることも考えて良いと思う。三笠市のように調理に特化した高校や在校生全員が2万円で留学出来る高校などもメディアで見ました。留学に関しては、英語の取得も出来れば、卒業後に羅臼町で外国人向けのツアーや外国人の観光にも繋がるから良いなと感じてました。いろんな意見を町民に募集しても良いと思います。
- ・終活世代に近寄り、自身の終え方を考える日々です。若い世代に悔いのないように過ごして欲しいですが、独り身ですので良いアドバイスを出せる余裕がないです。
- ・住んでいる私は、羅臼にあまり魅力を感じていませんが、町外には、羅臼に住んでみたいと思っている人がたくさんいると思います。そんな人達が、家族で移住を考えた時に住む所や働く所がちゃんとしていれば、魅力を感じてくれるのではないかと思います。
- ・今、町内では漁師の不足や子供の減少で困っています。住民に、それを望んでも無理だと思うので、町外からの受け入れに力をいれなければ、このまま人口の減少を防ぐことが出来ないと思います。ある町では、引っ越して来てくれたら100万円くれると聞いた事があります。それができなくても、空き家をすぐ住める状態にリフォームするとか独身の人向けのシェアハウスにするとか、方法はあると思います。今の子供達に羅臼に残れとか戻れとか無理な事のように思えます。なぜなら、一度は都会にでてみたいし羅臼に残るだけの魅力を感じられないからです。でも私たちが感じていない羅臼の魅力を感じてくれる人達はたくさんいると思います。

- ・ 羅臼はとても有名な町です。でもゴミだらけだったり、草が伸び放題だったり、初めて来町した人が、決してきれいな町と思える現状じゃないと思います。ゴミ拾いも回数が少ないと思います。もっと色々な団体をお願いして多くすると窓からポイ捨てる人も減ると思います。今は町中に今にも崩れそうな家が丸見えで、あれを見たら幻滅します。観光客を大事にして、何度も足を運びたくなる様な町づくりも大切だと思います。羅臼には、美味しい物がたくさんあります。羅臼のお母さんたちが作る飯寿司やはさみ漬は最高です。是非とも全国の人達に味わってもらいたい物です。
- ・ 自分の思っている事を勝手に書いてみました。すみません。これから羅臼町を背負って行く人達は大変だと思いますが、町民として協力できる事は協力していくつもりです。是非羅臼町のために頑張ってください。
- ・ 将来に不安なく安心して働ける環境を作ること。羅臼だからできる大きな工場などの誘致。将来の世代に何を伝え、何を残していくのか。今が良ければそれでいいでは何も残せない。それぞれが自分の行っていることを振り返り、いいものを残していきたい。責任ある生き方が次の世代に残せるものではないでしょうか。みんなわかっているはず。抽象的ではありますが。
- ・ 将来を考えるとやはり子育て環境の充実がいちばんでしょう！
- ・ 少子高齢化に伴い、更に当町の人口減が進んでいくが、町の活性化のためには交流人口（他から訪れる）を増やす方策を検討すべき。
 - ①漁獲量が減少しているが釣れる魚（鮭、ホッケ、ソイ、鱈、チカ、サクラマス等）はまだいるし、釣り人も町外から来ている。釣り人へのマナー啓発・情報提供・サクラマスの尾数制限？ルール整備が必要と思われる。
 - ②自然環境を守る取り組みを更に強化し、来町者を増やす対策を。
（①+②により「ふるさと納税」を増やす取り組みをしてはどうか）
 - ③羅臼ならではの海産物の新たな商品化、加工技術の向上など、土産に買ってもらえるような物を作ることが大事と思われるが。”
- ・ 情報共有（10年後の羅臼の姿をイメージできる）等、町全体での動き、町民一人ひとりが動ける町を創出すべきと考える。それは、高校からではなく小学校の子どものレベルからの意図的な教育が必要だと考える。子どもも町民の一人として責任を持ち、羅臼の町を創る一人として何かしらアクションに携われるように、大人が導いてあげる必要があると思う。5年後、10年後の目標を明確にして、やはり子どもに託すことかな？勿論、大人が支えて。
- ・ 人が健康に過ごせて、集まれる施設（例えば公民館）があれば良いと思う。
- ・ 人が集まり、言葉を交わしたり、学生が安全に過ごせる場所がほしい。ただ図書館を作るだけでなく、交流やデザインにも目を向け長く有用性のある建物があるといい。
- ・ 発達障害やグレーゾーンの子が通えるフルスクールや自然学校をつくりたい。選択肢がないと人口の流出にもつながると思う。
- ・ 人口を増やす努力をもっとしてほしい
- ・ 人口減少が進み、町民だけではいろいろな面で限界が来ると思います。町外の人を取り入れなければならぬのではと感じます。企業誘致、飲食、施設等。財源としてふるさと納税のあり方も検討すべきではと思います。
- ・ 人口減少で町財政の悪化がある中で、町議の数、役場職員の数が多すぎるのではないのでしょうか。予算の半分以上が町職員の給料というのはいかがなものか？清掃なども自分達で行い、業者を使用しなくても良いのではないか。もっと町民の税金を大事に町民の為に使ってほしい。

- ・人口減少をくい止めることが重要と思います。
- ・人口減対策、小中高教育費の無償化
- ・図書館の件もそうですが、間近に統合（学校）の問題が直面しているのであれば、どちらかの学校を活用する等、もう少し全体的な視野で行政にあたってもらいたいです。一つ一つの案件が「予算」や「期限・期間」にしばられているようにいつも感じます。建物を購入したりするのは簡単かもしれませんが、その後の利活用がどれもうまくいっていない（体験実習館、二階建て漁港他）。私財を投じるときの様な慎重さや、一度白紙に戻す勇気も行政に必要です。急ぎすぎず、丁寧をお願いします。
- ・水道料金、町民税、国民健康保険料が高い。浄化槽の清掃管理費を支払わないといけない(10万位)。他の町にはない多額を出費。ガソリン・灯油・物価が高い。野菜種類少ない。食品の種類も少ない。どこに行くにも遠い。時間、ガソリン代がかかる。外食も高い。レシートがない。
- ・水道料高いです。もう少し安くしてください。よろしくね。アンケートもういらない。世界遺産「知床」の良さは、理性的なことで、それに相応しいアクティビティを充実させる必要があると思う。自然ガイドを補助金等で助け、育成していったらどうか。また、宿泊施設が少ないのもネックだと思う。リピーターを増やすことが良いと思うが、観光には力が入っていないように思えてしまう。
- ・世代交代も視野に入れ、町内若者が活躍する場を増やしてほしい。
- ・生まれてから現在まで一度も羅臼を離れず住んでいるので、少しでもこの町が元気で明るい町であることが一番の願いです。宜しくお願い致します。
- ・生活弱者が多く生活している公住にバス停がなかったり、お店が少ない。公共交通が不便なので歩行者が休めるベンチが欲しい。ベンチがあればそこが寄合所にもなると思う。
- ・担当課の工事・作業時に町民・業者に状況確認をしていない。作業等をした後また作業する？作業・生活に不便をきたしてから撤去またやり直し等をしている。無駄！
- ・町の基幹産業である漁業の振興に、町・漁協が一丸となって取り組み漁業が活発になることが人口減少を食い止める一番のポイントであると思う。
- ・町外からの観光客を多く受け入れることも必要かとは思いますが、町内に3箇所？ものキャンプ場が必要とは思いません。どれ程の町民が利用していますか？限られた財源を町民のために充てることを真剣に考えるべきです。約5000人弱の人口がありながら町民が憩える公園が1つありません。オートキャンプ場、運動公園未利用地の利用方法や形態の変更も検討すべきだと思います。
- ・町職員一人一人が高い意識を持ち、町民と向き合えば少し変わると思う。上から目線でなく、町民の目線で話をすると町民も意見が出せると思う。温泉水を利用した雪の溶かし方を考えると町民も喜ぶと思う。
- ・町長は今の羅臼をどの方向へもっていくのか。産業か観光かわからない。羅臼町の魅力をもっと出してもいい。個人事業に頼りすぎ。
- ・町民が自由に集い学んだり余暇を過ごせる施設として公民館や図書館を早く整備し、職員の育成や体制もしっかり考えて欲しい。管内市町と比べても、文化や教育の基盤がお粗末だと感じる。町政は、まず町民を最優先に財源を使って欲しい。町民が暮らしやすく誇れる町になれば自ずと外部からも魅力ある町になると思う。
- ・町民や観光客が、ゆっくり時間が流れる羅臼になってほしい！（足湯に入りながら国後や海を見る）朝日をみたり、流水を見たり、情報交換したり・・・。

- ・海を大切に！！資源保護を町民皆で考える（幼・小・中・高・大人迄）。専門家の意見も大事だが町民等の意識を高めたい。”
- ・度々、町外の業者の方や、せっかく来町してくれた観光客がトイレを捜すことに苦勞、又は冬期閉まって困っているのを見かける。大変な町のイメージダウンだと思う。早期に改善を！冬期でも観光客は来てくれますよ！
- ・道の駅周辺の空き家、観光客向けに利用できないか？
- ・羅臼の新鮮な魚介類、朝一販売、加工品など。
- ・体験実習センターの有効活用、定期的に利用出来ないか（イベント・セミナー・集いの場・カフェや軽食）（町バス送迎あり）
- ・福祉施設を増やす。
- ・免許を返納したらタクシーやバスの割引券発行とか何か特典があるなら進んで返納しますが、老人二人です。助けてくださる方もおりません。考慮していただければ幸いです。
- ・役場駐車場、特に確定申告の時はとめられない。職員の車や公用車がとまっているようですが。
- ・幼稚園の統合は、13時、15時その他預かりと帰り時間がバラつき、スクールバスが出ない時間の場合は、どちらかはじの町内の子たち等はお迎えが大変。統合する場合、13時便、15時便2本はバスを用意してほしい。15時まで無償化なのに13時しかない、遠くて迎えが無理な人は13時バスで帰ってきてもらうしか手段がなくなり不平等だと思う。
- ・羅臼に行きたい～住んでみたい！！と思える、魅力ある何か1つがあればいいな～って思います。
- ・羅臼の魚を町民還元してください。
- ・羅臼の産業の中心は漁業だと思う。漁協と協力して若者が将来不安の無い、漁業への振興への取り組みをしてほしい。
- ・羅臼高校を卒業しても進学に出たら戻ってくるように奨学資金制度をもっと充実したら良いと思う。図書館など学生が勉強できる施設が少ない。
- ・羅臼町の基幹産業は漁業とは言え、これからは観光に力をもっと注ぐべき。釧路しんくみ（本町）の跡地建物を図書館にとの計画策定中だが、今は街の中心地とも言える一等地・観光地として道の駅が狭いので、地元の人や観光で来た人が気さくに休めて交流できる場として、又、ワーケーションの場として活用すべきである。パソコン持参の為にWiFiの設備やデスク等を用意してあげて、地元も紹介してくれる、今や滞在観光型のワーケーションに力を入れるべき。知人の話だと、斜里町や浜中町は力を入れて設備が良いとのことですよ。何も図書館は本町の一等地ではなくても良い筈。峯浜に有る資料館でも移転した方がまだましです。
- ・羅臼町の取り組みについて、とても満足に丸印を付けられなかったのが残念です。
- ・羅臼町は2050年にはカーボンニュートラルを表明しているが具体的な取り組みが見えてこない。今後、総合計画を策定するうえでカーボンニュートラルを前面に押し出していきたい。今後、デジタル化が常識になってくるので役場のデジタル化・DXに力を入れてほしい。
- ・羅臼町は正社員雇用が少なく、パート、アルバイトでの子育ては大変。と思っている子育て世代は多いと思う。色々な職種で正規雇用枠を増やせば、羅臼から出る人も少なく、町外からの移住者も増えると思う。
- ・羅臼町内の施設を整備してほしい。体育館があるけど公民館・図書館がない。船見町港トイレが古くて観光客に言われた。キャンプ場のトイレ・水道など急いで整備してほしい。町全体をきれいにしてほしい。出来れば2、3年の内に整備してほしい。公民館・図書館を早く作ってください。出

来れば老人の集まる所を作ってほしい。

- ・重点的なものの数は限りなく少なくし、その代わり、それを確実に進めてほしい。
- ・町民減少を防ぐ対策が必要。子育て支援等
- ・複数を同時進行で解決していくのではなく、一つ一つ確実に問題を解決・発展するようにしたほうがいい。
- ・羅臼へ来て 20 数年、羅臼町に住むメリットは自然環境くらい。でもニセコみたいにもなってほしくない。
- ・働く場の確保、生活を維持していくための住みやすさ、学力向上（図書館、公民館の設立）
子育て支援に力を入れ、若い世代が安心して子育てができるようになると、羅臼町で子育てしながら働くことができるのではないのでしょうか。（標津町は始めた頃は、赤字だったが数年で町に活気が戻ってきたと聞いたことがあります…。）